



JPN

xyhdyddiadau LASER SHOT SCAN-100



ご使用前に必ず本書をお読みください。 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。





スキャナのおもな仕様、各部の寸法、保守サービスのご案内、索引などを記載してい ます。

 [◆]本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
 ◆本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
 ◆本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

はじめにvi
本書の読みかたvi
マークについて
キー・ボタンについて
画面について
略称についてvii
規制についてviii
電波障害規制についてviii
商標についてviii
原稿などを読み込む際の注意事項viii

第1章 お使いになる前に

設置場所について	1-2
設置環境	1-2
周囲に必要なスペース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-3
足の位置	1-3
設置する高さ	1-4
E メール機能を使用するために必要なシステム環境	1-5
本体各部の名称と機能	1-6
本体前面	1-6
本体背面	
本体背面 操作パネル	1-7 1-8
本体背面. 操作パネル. キーボード	1-7 1-8 1-9
本体背面. 操作パネル. キーボード. ディスプレイ	1-7 1-8 1-9 1-10
本体背面. 操作パネル. キーボード. ディスプレイ コピー機能使用時	1-7 1-8 1-9 1-10 1-10

第2章 スキャナの設置

パッケージの内容を確認する	2-2
スキャナを設置する	2-3
設置場所に運ぶ	2-3
スキャナのロックを解除する	2-5
梱包材の取り外しと付属品の取り付け	2-6

ケーブルを接続する	
プリンタとの接続	
LAN との接続	
電源コードを接続する	
電源のオン、オフ	
電源をオンにする	
電源をオフにする	
消費電力の節約(スリープモード)について	2-18
スキャナ設置後の設定	
管理者情報を設定する	
ログイン名を設定する	2-20
パスワードを設定する	2-22
Eメールアドレスを設定する	2-25
ネットワークの設定をする	2-28
プリンタの設定をする(プリンタプロファイルの更新)	2-30

第3章 スキャナの基本操作と機能

原稿をセットする	
原稿台ガラスにセットする	3-2
フィーダにセットする	3-6
文字の入力のしかた	

第4章 コピーする

コピー操作の流れ	2
コピーモードを設定する	3
縮小/拡大コピーする	3
コピーする解像度を設定する4-8	3
コピーする画質を設定する4-8	9
コピーする濃度を設定する4-1()
厚紙や OHP フィルムにコピーするには	

第5章 Eメールを送信する

E メール送信の流れ	5-2
読み込みモードを設定する	5-9
ファイル形式を設定する	5-9
読み込む画質を設定する5	j-10
原稿を連続読み込みするときは	-12

設定のしかた	6-2
設定できるメニューの種類について	6-3
操作パネルから設定する	6-3
Web ブラウザから設定する	6-4
標進モードを変更する	6-8
操作パネルから設定する	6-8
Web ブラウザから設定する	6-10
設定項目一覧	6-11
セットアップメニューの設定項目	6-13
	6-13
デバイス名【デバイ2:4】	6-13
ネットワーク設定	6-13
IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス	6-13
SMTP サーバ	6-13
SMTP ポート	6-14
DNS サーバ	6-14
⊐ピ−	6-14
プリンタ名【プリンタメイ】	6-14
出力サイズ【シュツリョクサイズ】	6-14
地色除去(モノクロスキャン)【ジイロジョキョ(モノクロスキャン)】	6-14
Eメール	6-15
Subject	6-15
ファイル形式(モノクロ)【ファイルケイシキ(モノクロ)】	6-15
ファイル形式(カラー)【ファイルケイシキ (カラー)】	6-15
標準(モノクロ)【とヨウジュンカイン゙ウド(モノクロ)】	6-16
高(モノクロ)【コウカイゾウド(モノ如)】	6-16
標準(カラー)【ヒヨワジュンカイゾウド(カフー)】	6-16
	6-17
尿禍クイノ【ソ ノリンタイノ】	6-17
	0-17
地巴际云(モノクロスキャン) 【2 102 343(モクロスキャン)】 答理考認定	619
	6-18
	6-18
管理者パスワード【カンリンル゚スワード】	6-19
ロション マン マン ロン マン ロン	6-19
送信後に宛先を宛先表に追加【ソウシンゴニアテサキアテテサキーゥニツイカ】	6-19
From(Eメール)【From(Eメール】】	6-20
現在の設定を標準モードにする【ゲンザイノセッティヲヒョウジュンモードニスル】	6-20
ファンクションキーの設定をする	6-21
操作パネルから登録する	6-22
Web ブラウザから登録する	6-22

宛先表の登録・管理をする	6-27
宛先を登録する	6-27
宛先を変更する	6-30
宛先を削除する	6-31
グループの設定をする	6-32
E メール送信機能の使用者を制限する(ユーザプロファイル)	6-34
E メール送信機能の使用者を制限する(ユーザプロファイル) ユーザプロファイルを登録する	6-34
E メール送信機能の使用者を制限する(ユーザプロファイル) ユーザプロファイルを登録するユーザプロファイルを登録する	
E メール送信機能の使用者を制限する(ユーザプロファイル) ユーザプロファイルを登録する ユーザプロファイルを変更する ユーザプロファイルを削除する	

第7章 トラブル&メンテナンス

紙づまりが起きたときには
エラーメッセージー覧7-5
メッセージー覧
エラーコード一覧
サービスコール表示
正しくコピーまたは Eメール送信ができなかったときには
電源や動作のトラブル
画質のトラブル
その他のトラブル
日常のお手入れ7-22
原稿台ガラス/フィーダの裏面を清掃する
フィーダの給紙ローラや分離パッドを清掃する
フィーダの分離パッドを交換する

第8章 付録

おもな仕様	3-2
各部の寸法	3-5
スキャナのファームウェアを更新する.............. 8	3-6
スキャナのホームページを更新する	3-8
索引	11
保守サービスのご案内8-	14
キヤノン保守契約制度とは8-	14
キヤノン保守契約制度のメリット8-	14
補修用性能部品	14
無償保証について	15
シリアルナンバーの表示位置について8-	16

はじめに

このたびはキヤノン LASER SHOT SCAN-100 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、 下記のマークを付けています。

- ▲警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれ ています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りくださ い。
- ▲注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注 意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項 をお守りください。
- 重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
- メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおす すめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

操作パネル上のキー:[キー名称]
 例:[セットアップ]

[実行]

- •コンピュータ画面上のボタン:[ボタン名称]ボタン
 - 例: [OK] ボタン [終了] ボタン

画面について

本書で使われている画面は、LASER SHOT SCAN-100 を LBP-2810 に接続した場合 のものです。

操作時に押すボタンの場所は、())で囲んで表しています。また、操作を行うボタン が複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択し てください。



略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。	
Microsoft [®] Windows NT [®] operating system 日本語版 :	Windows NT
Microsoft [®] Windows [®] 2000 operating system 日本語版:	Windows 2000
Microsoft [®] Windows [®] operating system:	Windows
LASER SHOT LBP-2810:	LBP-2810
LASER SHOT LBP-2710:	LBP-2710
LASER SHOT LBP-2510:	LBP-2510
LASER SHOT LBP-1910:	LBP-1910
LASER SHOT LBP-1820:	LBP-1820
LASER SHOT LBP-1620:	LBP-1620
LASER SHOT SCAN-100:	SCAN-100またはスキャナ

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラス B 情報 技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラ ジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがありま す。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

LASER SHOT は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合があ りますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに 準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人 物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい ものを作成することは法律により罰せられます。

- •紙幣、貨幣、銀行券(外国のものを含む)
- •国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙

- ●株券、社債券
- ●手形、小切手
- ●定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- •公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- •私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- •役所または公務員の印影、署名または記号
- •私人の印影または署名

[関係法律]	 ● 刑法 ● 著作権法 	●郵便法●郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽 造変造及模造二関スル法律 	 印紙等模造取締法

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、スキャナを設置する前や使用する前に知っておいていただきたいことについて 説明しています。

設置場所について	1-2
設置環境	1-2
周囲に必要なスペース	1-3
足の位置	1-3
設置する高さ	1-4
Eメール機能を使用するために必要なシステム環境	1-5
本体各部の名称と機能	1-6
本体前面	1-6
本体背面	1-7
操作パネル	1-8
キーボード.................................	1-9
ディスプレイ	1-10

設置場所について

本スキャナを安全かつ快適にご使用いただくために、以下の条件を満たした場所に設置してください。

設置環境

本スキャナを設置する環境条件は「電源条件」を除き、接続するプリンタに準じます。プリ ンタの設置条件については、プリンタに付属の「設置ガイド」を参照してください。

■ 本スキャナの電源条件

本スキャナの最大消費電力は、30W 以下(AC100V ± 10%,50/60Hz ± 2Hz)で す。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本スキャナだけでなく、プ リンタの誤動作の原因になることがあります。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 1A 以上の電源コンセントに、スキャナの AC アダプタを接続してください。
- •アース線を接続してください。

お使いの電源についてご不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店な どにご相談ください。

- ▲警告 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や 感電の原因になります。
- 重要 ・パソコン本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
 - 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する 機器と同じコンセントに電源を接続しないでください。

1

周囲に必要なスペース

本スキャナの周囲には、次のような空間を確保して設置してください。



足の位置

本スキャナの足の位置は次のようになっています。



設置する高さ

本スキャナを設置する机などの高さは、1m以下を目安にしてください。



Eメール機能を使用するために必要なシステム 環境

本スキャナのEメール機能を使用するときは、以下のシステム環境が必要です。

■ 対応しているメール転送用サーバソフトウェア

- Lotus Notes Server 5.0 (Windows NT4.0)
- Windows2000 Exchange Server (Windows 2000)
- RedHat 7.0 Sendmail (RedHat 7.0)
- MAC mail server (MAC OS 9.04)
- 重要
 Windows NT をお使いのときは、Service Pack 1 以降をインストールしてください。
 Windows 2000をお使いのときは、Service Pack4以降をインストールしてください。

■ 対応しているメールアプリケーションソフトウェア

- Microsoft Outlook 2000
- Microsoft Outlook Express 5.0
- Microsoft Outlook Express 6
- Netscape Messenger 4.7
- Netscape Messenger 4.73
- Eudora 4.3.2J
- Lotus Notes R5

1

本体各部の名称と機能

本スキャナは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本スキャナを正しく使用 し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体前面

- 重要 ・原稿台ガラス、フィーダの裏面が汚れていると快適なプリント結果を得られませんので定期的に清掃することをおすすめします。(→原稿台ガラス/フィーダの裏面を清掃する: P.7-22)
 - サービスや修理を受けるときに必要な「シリアルナンバー」は、本体底面に貼られている ラベルに記載されています。



1

お使いになる前に

1

① ロック解除スイッチ

輸送時の振動や衝撃から内部の読み取りユニットを 保護するためのスイッチです。ご使用前には必ず ロックを解除してください。(→ P.2-5)

② フィーダ

原稿を自動的に原稿台ガラスに送ることができます。原稿台ガラスに原稿をセットするときは、フィーダを開けます。

③ 上カバー

紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。また、一度セットした用紙を取り除くときもここを開けます。(→ P.3-8、P.7-2)

④ スライドガイド

原稿をセットする前に原稿のサイズに合わせてスラ イドガイドを調整します。(→ P.3-7)

⑤ 補助トレイ

A4 サイズなど大きい原稿をセットするときに、用 紙が垂れ下がらないように開けます。(→ P.3-6)

本体背面

🕛 重要

排紙口がふさがれると、原稿を破損する恐れがありますので、原稿排紙トレイには物など を置かないでください。

⑥ 原稿給紙トレイ

す。(→ P.3-8)

⑦ 排紙ストッパ

(8) 原稿排紙トレイ

⑨ 操作パネル

原稿台ガラス

P.3-2)

します。(→ P.1-8)

フィーダを使用する場合、原稿をここにセットしま

A4またはレターサイズの原稿をセットするときは、

排紙ストッパのレバーを引き出します。(→P.3-7)

フィーダで読み込んだ原稿はここに排紙されます。

原稿を破損する恐れがありますので、原稿排紙トレ

スキャナの動作や状態を表示したり、機能の設定を

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィ

ルムなどを読み込む場合はここにセットします。(→

イにはものを置かないでください。



① 排紙口

フィーダで読み込んだ原稿はここから排紙されます。

- ② フィーダケーブル フィーダとスキャナ本体を接続するケーブルです。
- ③ 電源スイッチ

スキャナの電源をオン / オフします。(→ P.2-17)

- ④ 電源コード差し込み口 付属の AC アダプタをここに接続します。
- キーボードコネクタ 付属のキーボードをここに接続します。

低しにたぞ育に

⑥ LAN コネクタ

10BASE-T/100BASE-TX のLAN ケーブル接続 部です。

⑦ プリンタコネクタ

コピー機能を使用するときは、ここに付属のプリン タケーブルを接続します。

操作パネル





コピー倍率設定

[選択]を押して倍率を選択します。1% づつ倍率を 設定したいときは、「変倍」の [▲] および [▼] で 設定します。(→ P.4-6)

② ディスプレイ

スキャナの状態やメッセージ、セットアップメ ニューの設定項目や設定値を表示します。(→ P.1-10)

- ③ [キャンセル] キー 設定値を確定しないで、前の階層に戻ります。
- ④ [△] [▽] [⊲] [⊳] ≠− 項目や設定値の選択、カーソルの移動をします。(→ P.3-11)
- ⑤ テンキー 数字や文字を入力します。(→ P.3-10)
- ⑥[バージョン情報] キー 本スキャナのバージョン情報を表示します。(→ P.6-40)
- ⑦ [ストップ/クリア] キー コピーや E メール送信を中止します。このキーを押 すと、すべての設定が標準モードに戻ります。

⑧[高解像モード] キー

高画質でコピーやEメール送信をしたいときに押し ます。キーの上のランプが点灯しているときが「高 解像モード」です。

機能選択キー

コピー機能、E メール機能を切り替えます。キーに はランプが内蔵されており、選択されている機能の キーが点灯します。(→ P.4-2、P.5-3)

- ⑩[宛先表] キー Eメール送信時の宛先表を表示します。(→ P.5-4)
- ① [セットアップ] キー スキャナの環境を設定します。(→ P.6-3)
- 12[実行] キー

選択した項目の実行や、設定値を確定します。

(3) [スタート] キー

コピーや E メール送信を開始します。[カラー] を 押すと、カラーコピーやカラー画像のEメール送信 を行い、[モノクロ]を押すとモノクロコピーやモノ クロ画像の送信を行います。

@[連続読込] キー

複数枚の原稿を原稿台ガラスから読み込みたいとき などに押します。キーの上のランプが点灯している ときが「連続読み込みモード」です。(→ P.5-12)





① 機能選択キー

コピー機能、Eメール機能を切り替えます。

② [宛先表] キー

E メール送信時の宛先表を表示します。

③ [セットアップ] キー

スキャナの環境を設定します。

④ [Fn1] ~ [Fn6] (ファンクション) キー あらかじめ登録しておいたコピー設定やEメール設

定を使用するときに押します。(→ P.6-21)

⑤ 入力キー

数字や文字を入力します。(→ P.3-10)

1

お使いになる前に

ディスプレイ

ディスプレイは、操作パネルの[コピー]、[E メール]を押して切り替えます。

コピー機能使用時

操作パネルの [コピー] を押すと、以下のコピー画面が表示されます。



- ① コピー倍率
 設定したコピー倍率が表示されます。(→ P.4-6)
- ② 接続しているプリンタ名 接続しているプリンタの名称が表示されます。
- ③出力サイズ

出力する用紙サイズを設定します。(→ P.4-3)

④ コピー部数

設定したコピー部数が表示されます。(→ P.4-4)

⑤ 読み込み画質 原稿に適した画質で読み

原稿に適した画質で読み込むために設定します。(→ P.4-9)

⑥ コピー濃度

コピー濃度を設定します。左側に設定すると薄く、右側に設定すると濃くコピーされます。(→P.4-10)

E メール機能使用時

操作パネルの [E メール]を押すと、以下の E メール画面が表示されます。



① From

E メールの差出人を入力します。管理者設定の [From(E メール)] (→ P.6-20)を設定しておく と、自動的に設定したアドレスが入力されます。

② Subj

Eメールのタイトルを入力します。

1

3 To

E メールの宛先を入力します。宛先表から指定する こともできます。

④ CC

E メールの CC (カーボンコピー)を送る宛先を入 力します。宛先表から指定することもできます。

(5) BCC

EメールのBCC(ブラインドカーボンコピー)を送 る宛先を入力します。宛先表から指定することもで きます。ここに入力した宛先は、「To」と「CC」の 宛先には通知されません。

⑥ Memo

Eメールの本文を入力します。

⑦ 入力エリア

入力および指定した宛先などが表示されるエリアで す。

2 CHAPTER

スキャナの設置

この章では、スキャナをパッケージから取り出して設置し、使用できる状態にするまでの手順について説明しています。

パッケージの内容を確認する.......................	2-2
スキャナを設置する	
ケーブルを接続する	2-10
プリンタとの接続	2-10
LAN との接続	2-12
電源コードを接続する	2-14
電源のオン、オフ	2-17
電源をオンにする	2-17
電源をオフにする	2-18
消費電力の節約(スリープモード)について	2-18
スキャナ設置後の設定	2-19
管理者情報を設定する	2-19
ネットワークの設定をする	2-28
プリンタの設定をする (プリンタプロファイルの更新)	2-30

パッケージの内容を確認する

スキャナを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してくださ い。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店ま でご連絡ください。

● 重要 • 本スキャナに LAN ケーブルは付属していません。あらかじめご使用のネットワークに 合ったケーブル(別売)をご用意ください。



スキャナを設置する 2-3

スキャナを設置する

設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、スキャナをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

- 重要 •本スキャナを設置する場合は、本体の質量に耐えられる机などに設置してください。
 - 本スキャナの質量で歪んだり、沈む可能性のある場所(じゅうたん、畳などの上)には設置しないでください。
 - •本スキャナを設置する机などの高さは、1m以内を目安にしてください。

┃ スキャナ本体をパッケージから取り出します。

スキャナ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

2 スキャナ本体を設置場所へ運びます。

スキャナの左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。



▲注意 ・スキャナは約 6.3kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

絶対にフィーダの取っ手やフィーダケーブルなど、指定以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



- 重要 フィーダを止めてあるテープは、付けたまま持ち運んでください。
 - **3** 設置場所にゆっくりとおろします。
- ▲注意 スキャナはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 重要 設置場所には、部品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

スキャナのロックを解除する

スキャナは輸送時の振動や衝撃から内部の読み取りユニットを保護するため、ロックされた 状態で出荷されます。スキャナを使用する前には、必ずロックを解除してください。

[●] 重要 ロックを解除しないとスキャナをご使用になれません。必ずロックを解除してから使用してください。



2 ロック解除スイッチを「ロック解除位置」にスライドさせます。



3 スキャナを元に戻します。

●スキャナを移動するときは

スキャナを移動する際には、以下の手順で読み取りユニットをロックしてくだ さい。

1.スキャナの電源を入れます。

2.読み取りユニットが原稿台ガラスの左端に移動したことを確認して、電源を 切ります。

3.ロック解除スイッチを「ロック位置」にスライドさせます。

梱包材の取り外しと付属品の取り付け

本スキャナには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらのテープや梱包材を取り外してください。 梱包材の取り外し後、付属している部品をスキャナに取り付けます。

┨ スキャナに取り付けられているテープを取り外します。



- 重要
 スキャナにテープや梱包材が残っていると、動作時に読み込み不良や故障の原因になります。必ずテープや梱包材を残さずに取り外してください。
 - 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう 大切に保管しておいてください。

2 フィーダケーブルのコネクタを保護袋から取り出します。



3 スキャナ背面のフィーダケーブルコネクタへ差し込み ①、両側のネジを 締めて固定します ②。



4 原稿給紙トレイを組み立てます。

原稿給紙トレイに補助トレイをカチッと音がするまでしっかりと取り付けます。



5 原稿給紙トレイをフィーダに取り付けます。

原稿給紙トレイの溝にフィーダの突起を合わせて取り付けます。



6 排紙ストッパを取り付けます。

排紙ストッパの突起とフィーダの溝を合わせて取り付けます。



7 キーボードをスキャナ背面のキーボードコネクタに接続します。





プリンタとの接続

コピー機能を使用するときは、プリンタのパラレルコネクタと本スキャナのプリンタコネク タを付属のプリンタケーブルで接続します。

ここでは、LBP-2810を例にしています。他のプリンタに接続するときも同様に接続して ください。

 ▲注意 プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になる ことがあります。
 ① 本スキャナの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 ② プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1ピー機能を使用するには、プリンタとの接続の他に、プリンタプロファイルの設定が必要です。プリンタプロファイルの設定は後ほど「プリンタの設定をする(プリンタプロファイルの更新)」で行います。

1 プリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します②。



2 本スキャナに付属のプリンタケーブルのセントロ36 ピンコネクタ側(ネジが付いていないコネクタ)をプリンタ右側面のパラレルコネクタへ接続し①、両側の留め金を掛けます②。



3 プリンタケーブルの反対側をスキャナ背面のプリンタコネクタへ差し込み①、両側のネジを締めて固定します②。



4 プリンタのアース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

LAN との接続

E メール機能を使用するときやネットワークを利用してスキャナを管理するときなどは、 LAN にスキャナを以下の手順で接続します。

- 重要
 本スキャナにネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のネットワークに合ったケーブル(別売)をご用意ください。
 - ・100BASE-TX で接続する場合
 - 100BASE-TX対応LANケーブル(カテゴリ5用ツイストペアケーブル)で接続します。
 - ・10BASE-T で接続する場合 10BASE-T対応LANケーブル(カテゴリ3~5用ツイストペアケーブル)で接続します。
 - 100BASE-TX で接続する場合、ハブや LAN ケーブルなど、LAN に接続している機器は、 すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販 売店、または「お客様相談センター」へお問い合わせください。
- メモ E メール機能などネットワークを利用した機能を使用するには、LAN との接続の他に、 ネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定は後ほど「ネットワークの設定をする」で行います。
 - LAN ケーブルをハブのコネクタに接続します。







電源コードを接続する

スキャナの接続が終わったら、電源コードとアース線を接続します。

- ▲ 警告 ・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものを 置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電し て、火災や感電の原因になります。
 - 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
 - •濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
 - 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や 感電の原因になります。
 - •アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

[アース線を接続してもよいもの]

- ・電源コンセントのアース線端子
- ・接地工事(D種)が行われているアース線端子

[アース線を接続してはいけないもの]

- ・水道管・・・ 配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ・ガス管・・・ガス爆発や火災の原因になります。
- ・電話線のアースや避雷針・・・落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V1A以上のものを使用してください。使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。
- ACアダプタは本製品に同梱されているものをご使用ください。同梱品以外のACアダプタ を使用すると火災や感電の原因になります。
- ▲注意 •表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
 - いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- ① 重要 アース線を接続するときは、スキャナ、プリンタ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
 - •パソコン本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。

1 スキャナの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの"○"側を押した状態がオフです。





AC アダプタのコネクタに電源コードをしっかりと奥まで差し込みます。






4 アース線のキャップを外してアース線をアース線端子へ接続し、電源プラグを電源コンセントへ差し込みます。



▲注意 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災 や感電の原因になります。

● 重要
 ● 取り外したキャップは、大切に保管してください。
 ● 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。



本スキャナの電源は、本体背面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを 避けるため、正しい手順を覚えてください。

電源をオンにする

本スキャナを使用するには、電源スイッチの"」"側を押し、オンにします。

- 重要 ・電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにした後に再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから3秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
 - 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「エラーメッセージー 覧」(→ P.7-5)を参照してください。



1 スキャナの電源スイッチの"I"側を押します。

操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、スキャナの状態を自己診断します。

自己診断の結果異常がなければ、下の画面が表示され読み込み可能な状態になります。



② メモ 電源をオンにした直後は色味が安定しませんので、より良い色味で読み込みを行いたい場合は、約5分お待ちください。

電源をオフにする

本スキャナは、次の手順で電源をオフにします。

- 重要 スキャナが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
 ・コピー中、Eメール送信中
 - ・LASER SHOT SCAN Utility for Admin で接続中
 - ・スキャナの電源をオンにした直後の自己診断中

◀ スキャナが動作していないことを確認します。

2 スキャナの電源スイッチの"○"側を押します。

消費電力の節約(スリープモード)について

本スキャナは、何も操作しない状態が 4 時間続くと、消費電力を節約するスリープモード に移行します。

操作パネルのキーを操作するとスリープモードは解除されます。

- ・スリープモードに入ると、連続読み込みランプが点滅します。他のランプやディスプレイはすべて消灯します。
 - スリープ状態が解除されてから、コピー/Eメール送信ができるまでには最大45秒かかります。
 - スリープ状態が解除された直後は色味が安定しませんので、より良い色味で読み込みを行いたい場合は、約5分お待ちください。

スキャナ設置後の設定

スキャナを設置したら以下の設定を行ってください。

■管理者情報の設定(→ P.2-19)

必要に応じて管理者用の「ログイン名」や「パスワード」の設定をします。

■ ネットワークの設定 (→ P.2-28)

E メール機能を使用するための設定やパソコンからスキャナを管理するために必要な設定をします。以下の設定が必要ですので、あらかじめネットワーク管理者にお問い合わせください。

- •IP アドレス
- サブネットマスク
- •ゲートウェイアドレス
- SMTP サーバ(Eメールの送信に必要です)
- SMTP ポート(E メールの送信に必要です)
- DNS サーバ (SMTP サーバにホスト名を入力したときに必要です)

■ プリンタの設定(→ P.2-30)

コピー機能を使用するため、接続したプリンタのプロファイルの設定をします。 カラープリンタを使用する場合は接続したカラープリンタのプリンタプロファイルの設 定を必ず行ってください。

管理者情報を設定する

本スキャナのシステム管理者情報を設定します。管理者のログイン名やパスワードを設定す ると、セットアップメニューの「カンリシャセッテイ」および「ネットワークセッテイ」に 対して、制限をかけることができます。

- メモ ●管理者情報を設定しなくても、コピーやEメールの送信は行うことができますので、管理 者情報は必要に応じて設定してください。
 - 設定に必要な文字の入力のしかたは、「文字の入力のしかた」(→ P.3-10)を参照してください。
 - •「管理者 E メールアドレス」は、「セキュリティ機能(E メール)」が「ON」に設定されているときに表示される、ログイン名とパスワードの入力欄に管理者のログイン名とパスワードを入力すると、Fromの欄に入力されます。

ログイン名を設定する

1 [セットアップ]を押します。



2 [△]、[▽] で「カンリシャセッテイ」を選択し、[実行] を押します。



3 ログイン名とパスワードの入力画面が表示されます。「ログインメイ」と「パスワード」は工場出荷時には設定されていませんので、それぞれ何も入力しないで[実行]を押します。

ወታ ኅንሃብ: //° አワード:	-	 -

1.	カンリシャロク゛インメイ	:			
2.	カンリシャEメールアト゛レス				
З.	カンリシャハ゜スワート゛	1	*****	**	
4.	セキュリティキノウ(Eメール)		:	OFF	
5.	ソウシンコ゛ニアテザキヲアテサキヒョウニッ	バカ	:	ÓN	
6.	From (EX-ll) :				
7.	ケンサ・イノヤッティヲヒョウシ・コンモー	<mark>۰</mark> ۴* ב	スル		
Ŕ.	キャンセル				
υ.	115 60				

5 「アタラシイログインメイ」にログイン名を入力し、[実行]を押します。

ログイン名は、半角英数字のみで最大 16 文字まで入力できます。また、英字は大文字と 小文字の区別はしません。

アタラシイロク*インメイ:admin	
<u> </u>	
	J

6 「カクニンニュウリョク」に手順5と同じログイン名を入力し、[実行]を 押します。



 アレンスを設定しない場合は、「カンリシャログインメイ」と「カクニンニュウリョク」 に何も入力しないで[実行]を押します。

7 変更終了のメッセージが表示されますので、いずれかのキーを押します。

ロク゛インメイヲヘンコウシマシタ

ソ゛ッコウスルニハ、イス゛レカノキーヲオシテクタ゛サイ

8 続けて「パスワード」を設定する場合は、P.2-23の手順5に進みます。 「パスワード」を設定しない場合は、[△]、[▽]で「ゲンザイノセッテ イヲヒョウジュンモードニスル」を選択し、[実行]を押します。



パスワードを設定する

1 [セットアップ]を押します。



2 [△]、[▽] で「カンリシャセッテイ」を選択し、[実行] を押します。

1.2345678	キホンセッテイ ネットワークセッテイ コピ。- Eメール ファンクションキー カンリジャセッティ パ 、ーシ、ヨンシ、ヨウホウ モド、ル
8.	tr II

3 ログイン名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ログインメイ」を入力して[実行]を押します。

「ログイン名」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。

<u>ווי זער גער</u>	admin
N XJ-F .	

4 「パスワード」は工場出荷時には設定されていませんので、何も入力しないで[実行]を押します。

በታ	admin
/ነ°	

5 [△]、[▽] で「カンリシャパスワード」を選択し、[実行] を押します。

1		カンリシャロク゛インメイ	:	admin	
	2.	カンリシャEメールアト゛レス カンリシャパ゜スワート゛		******	*
4	Í.	セキュリティキノウ(Eメール)			OFF
6	5. 5.	ソワシンコ [・] ニアテサキヲアテサキビ: From (Eメール)	מרע_פנ :	•	UN
	Ź.	ケンサ・イノセッティヲヒョウシ・:	1ンモート、ニ	スル	
1 E	5.	キャンセル			

6 「ゲンザイノパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、[実行]を押します。

工場出荷時には「パスワード」が設定されていませんので、何も入力しないで[実行]を 押します。



7 「アタラシイパスワード」に新しいパスワードを入力し、[実行]を押します。

パスワードは、半角英数字のみで最大 8 文字まで入力できます。また、英字は大文字と小 文字の区別はしません。



8 「カクニンニュウリョク」に手順7と同じパスワードを入力し、[実行] を 押します。

ケ゛ンサ゛イノN°スワート゛: アタラシイN°スワート゛:****** カクニンニュウリョク: <mark>*母**##**</mark>

- パスワードを設定しない場合は、「アタラシイパスワード」と「カクニンニュウリョク」 に何も入力しないで[実行]を押します。
 - 9 変更終了のメッセージが表示されますので、いずれかのキーを押します。

アタラシイハ° スワート゛ ヲトウロクシマシタ

ソ゛ッコウスルニハ、イス゛レカノキーヲオシテクタ゛サイ

10 続けて [E メールアドレス] を設定する場合は、P.2-26 の手順5 に進み ます。 [E メールアドレス] を設定しない場合は、 [△]、 [▽] で「ゲン ザイノセッテイヲヒョウジュンモードニスル」を選択し、 [実行] を押し ます。



E メールアドレスを設定する

┫ [セットアップ]を押します。



2 [△]、[▽] で「カンリシャセッテイ」を選択し、[実行] を押します。



3 ログイン名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ログインメイ」を入力して[実行]を押します。

「ログイン名」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。

םל״ לאאל: וו° קראי	admin	
/° //-۲° :		

4 「パスワード」を入力して[実行]を押します。

「パスワード」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。

በኃ	admin
//°	*****

5 [△]、[▽]で「カンリシャEメールアドレス」を選択し、[実行]を押します。

1.	カンリシャロク゛インメイ	:	admin		
2.	カンリシャEメールアト゛レス	:			
3.	カンリシャハ。スワート、	:	*****	**	
4.	セキュリティキノウ(Eメール)		:	OFF	
5.	ソウシンコ゛ニアテザキヲアテサキヒョウニツイ	'n	:	ON	
6.	From (EX-ll) :				
7.	ケンサ・イノセッテイヲヒョウシ・ュンモート	× =	スル		
8.	キャンセル				



Eメールアドレスは、半角英数字のみで最大 64 文字まで入力できます。

アタラシイEメールアト゛レス: <mark>admin@canon.co.jp</mark> カクニンニュウリョク:

7 「カクニンニュウリョク」に手順6と同じEメールアドレスを入力し、[実行]を押します。



- - 8 変更終了のメッセージが表示されますので、いずれかのキーを押します。

アタラシイEメールアト゛レスヲトウロクシマシタ

ソ゛ッコウスルニハ、イス゛レカノキーヲオシテクタ゛サイ

9 [△]、[▽] で「ゲンザイノセッテイヲヒョウジュンモードニスル」を選択し、[実行] を押します。



ネットワークの設定をする

以下のネットワーク設定を行います。

- •IP アドレス 本スキャナの IP アドレスを設定します。
- サブネットマスク
 サブネットマスクのアドレスを設定します。
- ゲートウェイアドレス
 ゲートウェイのアドレスを設定します。
- SMTP サーバ E メールの送信に使用する SMTP サーバを設定します。「IP アドレス」または「ホスト 名」を入力することができます。「ホスト名」を入力したときは、「DNS サーバ」の設定 が必要です。
- SMTP ポート SMTP ポートを設定します。工場出荷時、「25」に設定されています。詳しくは、ネット ワーク管理者にお問い合わせください。
- DNS サーバ 「SMTP サーバ」に「ホスト名」を入力したときに DNS サーバのアドレスを設定します。
- ① 重要 ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

1 [セットアップ] を押します。



2 [△]、[▽] で「ネットワークセッテイ」を選択し、[実行] を押します。

1.2.3.4.5.6.7.8	キホンセッテイ ネットワークセッティ コピ。- Eメール ファングションキー カンリシャセッテイ バ、ーシ、ヨンシ、ヨウホウ モト、ル
-----------------	--

3 ログイン名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ログインメ イ」を入力して[実行]を押します。

「ログイン名」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。

በታ ኅንメイ:	admi n
//° አ ፓ-ኑ* :	

4 「パスワード」を入力して[実行]を押します。

「パスワード」が設定されていない場合は、何も入力しないで「実行」を押します。

በታ	admin
/ነ°	****

5 [△]、[▽] で「IPアドレス」を選択し、[実行] を押します。





6 スキャナのIP アドレスを入力し、[実行]を押します。

1.	IP7h~UZ :	192.1	68.	1.	21	
2.		0.	Q.	Q.	0	
4.	SMTPサーバ :	υ.	υ.	υ.	U	
5.	SMTP [*] -h :	25	•			
6.	UNSサーハ :	υ.	υ.	υ.	U	
8.	キャンセル					

7 同様に「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」、「SMTP サーバ」、 「SMTP ポート」、「DNS サーバ」の設定をします。

1.2.34.5.6.7.8	IPアト・レス : サブ・ネットマスク : ケ* ートウェイアト・レス: : SMTPサーハ* : SMTPサー・ト : DNSサーハ* : ホン* ンシテモト* ル キャンセル	192.168. 1. 21 255.255.255. 0 192.168. 1.254 smtp.company.co.jp 25 192.163. 1. 1
----------------	--	--

- メモ ・SMTP サーバには、SMTP サーバの「IP アドレス」または「ホスト名」を入力することができます。ただし、「ホスト名」を入力するには、「DNS サーバ」の設定が必要です。
 - SMTP ポートは工場出荷時、「25」に設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者 にお問い合わせください。

8 設定後、[△]、[▽] で「ホゾンシテモドル」を選択し、[実行] を押します。

1.234.567.8	IPアトドレス : サブ、ネットマスク : ケ、ートウェイアトドレス: : SMTPサーパ。 : SMTPホ。ート : DNSサーパ、 : TAYPシテモトドル : オャンセル :	192.168. 1. 21 255.255.255. 0 192.168. 1.254 smtp.company.co.jp 25 192.163. 1. 1
-------------	---	---

プリンタの設定をする(プリンタプロファイルの更新)

コピー機能を使用するには、接続したプリンタに合わせたプロファイル (プリンタプロファ イル)の設定をします。

プリンタプロファイルとは、プリンタ機種固有の情報が記載されているファイルで、この情報をもとに、接続したプリンタでコピーできるようになります。

工場出荷時は、LBP-1910 などのモノクロプリンタ用に設定されていますので、カラープリンタを接続した場合は、以下の手順でプロファイルの更新をしてください。

- 重要
 カラーブリンタを使用する場合は必ずプリンタプロファイルの更新を行ってください。プリンタプロファイルの更新を行わないと、カラーコピーができません。
 - 接続したプリンタと異なるプロファイルを更新すると正しく動作しません。必ず、接続したプリンタに合わせてプロファイルを更新してください。
 - プリンタプロファイルの更新は、ネットワークに接続されているパソコンから LASER SHOT SCAN Utility for Admin で行います。LASER SHOT SCAN Utility for Admin のインストール方法や使用方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。
 - LASER SHOT SCAN Utility for Admin を使用するには、スキャナがネットワークに接続されている必要があります。あらかじめ、LAN ケーブルをスキャナに接続し、ネット ワークの設定を行ってください。

- 1 電源スイッチの"I"側を押し、スキャナの電源を入れます。
- **2** 付属のCD-ROMをネットワークに接続されているパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
- **3** LASER SHOT SCAN Utility for Admin をインストールします。
- ASER SHOT SCAN Utility for Admin のインストール方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。
 - 4 「LASER SHOT SCAN Utility for Admin」を起動します。
 - **5** LASER SHOT SCAN Utility for Admin にログインしたら、[新規デバ イス] アイコンをダブルクリックします。
 - 6 スキャナの IP アドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

新しいデバイス	を追加		
IPアドレス	を入力してくだざい。		
	IP アドレス: <u>M</u> AC アドレス:		
	\square	0K キャンセル	

② メモ スキャナに接続する方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユー ザーズガイド」を参照してください。 7 メインウィンドウでデバイスを選択し、[ツール] メニューから [プリン タプロファイルの更新] を選択します。



8 接続したプリンタのプロファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

プロファイルは、CD-ROMの「Profile」フォルダの中に入っています。

ブリンタブロファイルの選	択			? ×
ファイルの場所の:	🔄 profile	•	£ 🗹	
a canon_LBP-191	0_1820_1620_v1.bin			
canon_LBP-281	0_2710_v1.bin			
」 ファイル名(N):	canon_LBP-2810_2710_v1.bin		-0	≣K@
ファイルの種類(工):	Printer Profile			キャンセル
ブリンタ名 :LBP-2810/:	2 プリンタ言語 :Canon LIF			

「更新が完了しました。」と表示されたら更新完了です。



スキャナの基本操作と機能

この章では、原稿のセット方法や文字の入力方法について説明しています。

原稿をセットする	3-2
原稿台ガラスにセットする	3-2
フィーダにセットする	3-6
文字の入力のしかた....................................	3-10

原稿をセットする

原稿は、サイズや種類、使用する機能のモードに応じて、次の場所にセットしてください。

■ 原稿台ガラス

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込む場合は原稿台ガラ スにセットします。

■ フィーダ (自動原稿送り装置)

シート状の原稿をまとめて読み込む場合はフィーダにセットします。

原稿台ガラスにセットする

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込む場合はここにセット します。

原稿台ガラスには、以下の原稿をセットすることができます。

・原稿のサイズ: 最大 幅216mm×長さ297mm
 (定形サイズの用紙の場合、A4、レターサイズまでセット可能)

1 フィーダを開けます。

フィーダは最後まで手で持ってゆっくりと開けます。





下図の枠を付けた部分は鋭利になっていますので、触れないように注意してください。鋭 利な部分に触れるとけがの原因になることがあります。



● 重要 フィーダを開けるときは、最後まで手を離さずにゆっくりと開けてください。フィーダを 勢いよく開けるとフィーダが破損する原因になります。

2 原稿をセットします。

原稿は、ヨコ置きにセットします。



原稿は読み込む面を下向きにして、原稿台ガラスの左奥にある矢印に原稿の角を合わせて セットします。



ブック原稿も同様にセットします。

3 フィーダを静かに閉めます。



厚いブック原稿などをセットして読み込むときは、フィーダを閉めずに原稿を手で軽く押 さえます。



- ▲注意 ・フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
 - 原稿台ガラスに厚いブック原稿などをセットして読み込むときは、原稿を強く押さないで ください。原稿台ガラスが破損して負傷する恐れがあります。
 - •厚いブック原稿などをセットして読み込むときはフィーダを閉めないでください。フィー ダが外れ、落下してけがの原因になることがあります。
- ① 重要 フィーダを閉めるときは、最後まで手を離さずにゆっくりと閉めてください。途中で手を 離すとフィーダが勢いよく閉まり、故障の原因になります。
- メモ 読み込みが終了した原稿は、原稿台ガラスから取り除いてください。



フィーダにセットする

シート状の原稿をまとめて読み込む場合、原稿をフィーダにセットして [スタート] を押す と自動的に読み込みを開始します。

原稿給紙トレイには、以下の原稿をセットすることができます。

・原稿の厚さ: $64g/m^2 \sim 105g/m^2$

・原稿のサイズ:最小 幅114.3mm×長さ139.7mm
 最大 幅216mm×長さ355.6mm
 (定形サイズの用紙の場合、B6サイズからリーガルサイズまでセット可能。

ただしリーガルサイズはコピーの場合のみ使用可能。)

・原稿給紙トレイに一度にセットできる枚数:25枚(64g/m²)まで

- 重要 ・次のような原稿の使用は避けてください。
 - ・破れや大きなとじ穴などがあいた原稿
 - ・大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある原稿
 - ・クリップやステイプル針などでとめてある原稿
 - ・カーボン紙など、すべりの悪い原稿
 - ·OHP フィルムなどの透明度の高い原稿
 - ・鉛筆でかかれた原稿を読み込んで原稿給紙ローラが汚れた場合は、フィーダの給紙ローラ を清掃してください。(→日常のお手入れ: P.7-22)
 - 折られている原稿をセットする場合は、原稿の折り部分を修正してからフィーダにセット してください。
 - A4 サイズの原稿など、大きいサイズの原稿をセットするときは、補助トレイを開けます。



2 A4 またはレターサイズの原稿をセットするときは、排紙ストッパのレバーを引き出します。





3 スライドガイドを原稿のサイズに合わせます。



🕛 重要

必ず原稿をセットする前にスライドガイドを合わせてください。スライドガイドが原稿の サイズに合っていない状態で原稿をセットすると、給紙不良の原因になります。 **4** 原稿を揃え、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。



原稿をセットすると、フィーダ内に1ページ目の原稿が少し送られます。

● 重要 ・セットした原稿を取り除くときは、必ずフィーダの上カバーを開けてください。上カバーを開けずに原稿を引き抜くと、フィーダの分離パッドがめくれ、原稿がセットできなくなることがあります。



•フィーダには 25 枚(64g/m²)までの原稿がセットできます。

 セットした原稿と用紙ガイドの間に隙間があることを確認してください。用紙ガイドいっ はいに原稿をセットすると、給紙不良の原因になります。



- •読み込み中にセットした原稿を抜き取ったり追加したりしないでください。
- 読み込みが終了した原稿は、原稿排紙トレイから取り除いてください。原稿排紙トレイに 原稿がたまると、紙づまりの原因になります。



読み込みが終了した原稿は原稿排紙トレイに裏向きで排紙されます。



- E メールアドレスの入力やパスワードの入力方法は2通りあります。
- 操作パネルから入力する

操作パネルのテンキーを使って入力します。



• キーボードから入力する

キーボードが接続されている場合は、キーボードから入力することができます。



🕛 重要 本スキャナは英数字や記号のみ入力可能です。漢字やひらがななどの入力はできません。

■ 操作パネルからの入力方法

操作パネルのテンキーは、いくつかの文字がひとつのキーに割り当てられていますので、 キーを続けて押すことで入力される文字が変わります。以下の表は、各キーに割り当て られている文字です。

	キーを押す回数											
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回
	1											
	2	а	b	С								
	3	d	е	f								
	4	g	h	i								
	5	j	k	I								
	6	m	n	0								
押 す	7	р	q	r	S							
+	8	t	u	v								
	9	w	х	У	z							
	*	*1	!	"	\$	%	&	'	()	+	/
	0											
	#	:	;	,	<	>	?	[]	^	-	_
	@											

*1:スペースが入力されます。

カーソルの移動は、[△] [▽] [⊲] [⊳] で行います。



■ キーボードからの入力方法

パソコンのキーボードと同様に文字や数字を入力することができます。

以下は、パソコンのキーボードにはないキーの説明と、パソコンとは動作が異なるキー の説明です。

(i)	バージョン情報画面を表示します。(→スキャナの情報を確認する(バージョン ジョウホウ):P.6-40)
Enter	操作パネルの[実行]と同様の動作をします。
Cancel	操作パネルの[キャンセル]と同様の動作をします。
Logout	E メール機能の使用者制限をしているときに使用します。ログインしたユーザが E メール機能使用後にログアウトするときに押します。(→セキュリティ機能 (E メール) : P.6-19)
Tab	動作しません。
Fn	動作しません。
Ctrl	動作しません。
Ins	動作しません。



コピーする

この章では、コピーのしかたについて説明しています。

コピー操作の流れ	4-2
コピーモードを設定する	4-6
縮小/拡大コピーする	4-6
コピーする解像度を設定する	4-8
コピーする画質を設定する	4-9
コピーする濃度を設定する4	-10
厚紙や OHP フィルムにコピーするには4-	11

コピー操作の流れ

コピーの基本的な流れを説明します。

- メモ
 読み込んだ画像を厚紙や OHP フィルムにコピーすることもできます。詳しくは「厚紙や OHP フィルムにコピーするには」(→ P.4-11)を参照してください。
 - コピーの設定を標準モードに戻すには、[ストップ/クリア]を押します。また、設定を 変更して何も操作をしない状態が3分以上続いたときにも自動的に標準モードに戻りま す。
 - ・標準モードは変更することができます。詳しくは「標準モードを変更する」(→ P.6-8)を 参照してください。
 - コピーの設定はファンクションキーに登録することができます。登録のしかたは「ファン クションキーの設定をする」(→ P.6-21)を参照してください。

1 [コピー]を押します。



[コピー] キーのランプが点灯し、コピー画面がディスプレイに表示されます。



- 重要 変倍の [▲]、[▼] を押して縮小/拡大コピーするときは、原稿を原稿台ガラスにセット してください。
- Øメモ 原稿をセットする方法は、「原稿をセットする」(→ P.3-2)を参照してください。

3 出力サイズを設定します。

[△]、[▽] で出力サイズの選択欄に▶を移動し、[□]、[□] で出力する用紙サイズを選択します。必ずプリンタにセットされている用紙サイズを選択してください。



- ・ 重要 縮小/拡大コピーの設定をするときは、出力サイズを縮小/拡大後のサイズに合わせてく ださい。サイズを合わせないでコピーすると、画像が欠けたり余白があいたりします。
- 選択できる出力サイズは、接続したプリンタによって異なります。
 ●出力サイズは、「出力サイズ」(→ P.6-14)でも設定することができます。





- ・コピー倍率の設定 (→ P.4-6)
- ·解像度の設定 (→ P.4-8)
- ·画質の設定 (→ P.4-9)
- ·濃度の設定 (→ P.4-10)
- 新聞紙などの原稿の地色(背景の色)を消去してモノクロコピーしたいときは、「地色除去(モノクロスキャン)」(→ P.6-18)の設定を「ON」に設定してください。
- カラーコピー時は画質の設定により地色除去の ON / OFF が自動的に決まります。「モジ」または「モジ+シャシン」になっていると地色除去機能が ON になり、「シャシン」になっていると地色除去機能が OFF になります。(→コピーする画質を設定する: P.4-9)

5 テンキーでコピー部数を設定します。

コピー部数は、1~99まで設定できます。



6 [スタート] を押します。

カラーコピーをするときは、[カラー]を押します。(カラープリンタ接続時のみ) モノクロコピーをするときは、[モノクロ]を押します。



🕛 重要

コピー中に読み込みが止まったときは、プリンタにエラー(用紙なしなど)が発生してい る場合があります。その場合は、プリンタのエラーを解消してください。(→プリンタに 付属のユーザーズガイド)

7 コピーを中止するには、[ストップ/クリア]を押します。



コピーが中止されます。

- メモ ・中止しても読み込みが終了した画像はプリンタから出力されます。プリンタからの出力を中止したい場合は、出力が開始する前にプリンタをオフラインにしてジョブキャンセルを行ってください。出力が開始してからのジョブキャンセルはできません。(→プリンタに付属のユーザーズガイド)
 - •フィーダに原稿をセットしている場合、[ストップ/クリア]を押すと以降のページは読み込まれませんが、すべてのページを給紙して原稿排紙トレイに排紙します。排紙が終了するまでしばらくお待ちください。



縮小/拡大コピーする

縮小/拡大コピーするときは、操作パネルの[選択]を押します。[選択]を押すと、ラン プが順に移動します。また、変倍の [▲]、 [▼]を押すと、1%きざみに倍率を設定するこ とができます。





■ 定形変倍

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に縮小/拡大します。

選択した倍率	原稿サイズと出力サイズ の組み合わせ		縮小/拡大率
	原稿サイズ	出力サイズ*1	
O ^{A4} ► ^{A3} 85 ► 84	A4	A3*2	141%
	B5	B4*2	
	A5	A4	
O ^{A4} A5►B4 B5	A4	B4*2	122%
	A5	B5	
OB5►A4	B5	A4	115%
OA4►B5	A4	B5	86%
OB5►A5	B5	A5	81%

*1 出力サイズは操作パネルで必ず設定してください。

*2 接続したプリンタによっては、使用できません。

■ 全面コピー

原稿を等倍で同じサイズの用紙にコピーする場合、用紙とコピー画像の大きさが同じと きは、わずかに原稿の周囲が欠けてコピーされます。全面コピーを設定すると、自動的 にコピー画像を少しだけ縮小(93%)して画像欠けをなくしてコピーすることができま す。

ダメモ 全面コピーを設定しても画像が一部欠けることがあります。

■ 変倍(任意変倍)

1%きざみに任意の倍率を設定して、縮小/拡大コピーします。倍率は、25~400%の範囲で設定することができます。

● 重要 [▲]、[▼]を押して縮小/拡大コピーするときは、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。

■ 等倍

縮小/拡大は行わずに等倍(100%)でコピーします。縮小/拡大の設定を取り消して、 等倍でコピーするときに選択します。

① 重要 フィーダに原稿をセットして等倍でコピーするときは、必ず「等倍」を選択してください。「変倍(任意変倍)」で100%に設定してコピーすると、画像が欠けたり余白があいたりする場合があります。

重要 定形変倍は、上記の組み合わせのみ行うことができます。上記以外の組み合わせで定形変倍を行うと、画像が欠けたり余白があいたりします。
コピーする解像度を設定する

コピーの解像度の設定は「標準モード」と「高解像モード」があり、操作パネルの[高解像 モード]を押して切り替えます。高解像モードランプが点灯した状態が「高解像モード」で す。工場出荷時は「標準モード」に設定されています。



■ 標準モード(高解像モードランプ消灯)

ー般的なビジネス文書に適したモードです。以下の解像度で読み込みおよびプリントを 行います。

- 読み込み:300dpi
- プリント:300dpi

■ 高解像モード(高解像モードランプ点灯)

文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できるモードです。以下の解像度で読み込み およびプリントを行います。

- 読み込み:600dpi
- プリント: 600dpi

コピーする画質を設定する

原稿(文字原稿、写真原稿)の画質に応じてコピーの画質を調節することができます。 画質 調節には次の 3 つのモードがあります。



■ 文字モード(モジ)

文字原稿のコピーに適しています。青焼きや、うすい鉛筆書きの原稿でもきれいにコピー できます。

■ 写真モード(シャシン) 網点でつくられている写真原稿(印刷されている写真)および、印画紙にプリントされている写真のコピーに適しています。

■ 文字+写真モード(モジ+シャシン)

文字と写真が混在する原稿のコピーに適しています。

1 [△]、[▽] で画質調節欄に▶を移動します。



2 [⊲]、[⊳] で原稿の画質に応じたモードを選択します。

コピーする濃度を設定する

原稿の濃度に合わせて、コピーの濃度を調節します。

1 [△]、[▽] で濃度調節欄に▶を移動します。





コピー濃度は、左に移動すると薄く、右に移動すると濃くなります。

厚紙や OHP フィルムにコピーするには

読み込んだ画像を厚紙や OHP フィルムにコピーするには、プリンタ側で「デフォルト用紙 タイプ」の設定をし、給紙元を給紙トレイに固定する必要があります。

「デフォルト用紙タイプ」と給紙元の設定は、プリンタの操作パネルで以下の手順で行います。

※以下の手順は、LBP-2810 で OHP フィルムにコピーする場合のものです。

- 重要 厚紙や OHP フィルムは給紙トレイにセットするため、「デフォルト用紙タイプ」の他に「トレイ用紙サイズ」の設定も必要です。また、カラープリンタをお使いの場合は、「トレイ用紙タイプ」の設定も必要です。設定方法は、「デフォルト用紙タイプ」と同等です。
- プリンタの操作パネルの操作方法については、プリンタに付属の「LIPS 機能ガイド」を 参照してください。
 - ●使用できる用紙や用紙のセット方法については、プリンタに付属の「ユーザーズガイド」 を参照してください。
 - 1 [オンライン] を押します。
 - 2 [セットアップ] を押します。



3 [◄]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[実行] または [▼] を押します。

セットアッフ。 キュウシ	→
	▼
キュウシ	
トレイ 3ウシ	サイス゛ →

4 [◄]、[▶] で「デフォルト ヨウシ タイプ」を選択し、[実行] また は [▼] を押します。



5 使用する用紙タイプを [◄] または [▶] で選択し、[実行] または [▼] を押します。



用紙タイプの左に「=」が表示され、用紙タイプが設定されます。

● 重要 • 引き続き「トレイ用紙サイズ」の設定をしてください。



• カラープリンタをお使いの場合は、引き続き 「トレイ用紙タイプ」の設定をしてください。

14	ЭĊУ	タイフ゜	
=0H	Р		→

6 [給紙選択]を押します。

キュウシ	£−ト*	
		\rightarrow

7 [給紙選択]を押して、「トレイ」を選択し、[実行]または [▼]を押します。

キュウシ モート * カセット 1	→
キュウシ モート゛	
=トレイ	\rightarrow

「トレイ」の左に「=」が表示され、給紙元が給紙トレイに設定されます。

8 [オンライン] 押します。

5 CHAPTER

E メールを送信する

この章では、Eメール送信のしかたについて説明しています。

Eメール送信の流れ
読み込みモードを設定する5-6
ファイル形式を設定する5-3
読み込む画質を設定する5-1(
原稿を連続読み込みするときは5-12

E メール送信の流れ

E メール送信の基本的な流れを説明します。

- ・E メールの設定を標準モードに戻すには、【ストップ/クリア】を押します。また、設定 を変更して何も操作をしない状態が3分以上続いたときにも自動的に標準モードに戻り ます。
 - ・標準モードは変更することができます。詳しくは「標準モードを変更する」(→ P.6-8)を 参照してください。
 - Eメールの設定はファンクションキーに登録することができます。登録のしかたは「ファ ンクションキーの設定をする」(→ P.6-21)を参照してください。
 - E メールで送信される画像の1ページ分のデータ容量の目安は、以下の通りです。

カラー/モノクロ	解像度	ファイル形式	データ容量(目安)
カラー	標準モード (JEO X JEOdai)	PDF	約 200K バイト
	(150 × 150upi)	JPEG	約 200K バイト
		TIFF	約 6500K バイト
モノクロ	標準モード (200 x 200dni)	PDF	約 70K バイト
	(200 × 2000pl)	TIFF	約 500K バイト

*画像サンプルとしてプリンタで出力したステータスプリントを使用しています。

* PDF と JPEG の圧縮率の設定は「中」(工場出荷時の値)です。

• 添付される画像のファイル名は自動的につけられます。

例)

f XXX XXX .PDF

└ ファイルごとに000~999まで順に付けられます。 (999まで番号が付けられると、000に戻ります。) ── 本スキャナのIPアドレスの下3桁

- •お使いのメールソフト、メールサーバによっては受信したメールの送信日時が正しく表示 されない場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 添付される画像のサイズは、原稿のサイズに関わらず 216mm × 297mm です。

┫ [Eメール]を押します。



[Eメール] キーのランプが点灯し、Eメール画面がディスプレイに表示されます。

- メモ ・セットアップメニューの「カンリシャセッテイ」-「セキュリティキノウ(Eメール)」が「ON」に設定されている場合、ログイン名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザプロファイルを登録する」(→ P.6-34)で設定したログイン名とパスワードを入力してください。また、管理者のログイン名とパスワードを入力することもできます。Eメール送信後、ログアウトするにはキーボードの[Logout]を押します。(→セキュリティ機能(Eメール): P.6-19)
 - •「To:」や「Subj:」などの項目を入力してから3分以上何もしない状態が続くと、入力した文字は消去されます。





●重要 ・原稿台ガラスに原稿をセットして複数枚の原稿を読み込むときや、フィーダと原稿台ガラスの両方の原稿を読み込むときは、「連続読込」を押して、ランプを点灯させます。すべての原稿の読み込み後、「連続読込」を押すか15秒経過すると送信が開始されます。詳しくは「原稿を連続読み込みするときは」(→ P.5-12)を参照してください。

- 一度に多くのページの原稿を送信するとデータ容量が大きくなりますので、ご使用のネットワーク環境によっては送信できない場合があります。このような場合は、ページ数を減らして送信してください。
- フィーダにはリーガルサイズの原稿をセットすることができますが、原稿の読み込み範囲は、216mm×297mmですので、原稿の後端が欠けます。
- Øメモ 原稿をセットする方法は「原稿をセットする」(→ P.3-2)を参照してください。

3 宛先を指定します。

● 宛先が宛先表に登録されている場合

□ [△]、[▽] で「To:」を選択して [宛先表] を押します。



ダメモ 宛先表の登録や管理をする方法には次の種類があります。

- ・送信した宛先を自動的に宛先表に追加する 操作パネルで入力した宛先を自動的に宛先表に追加することができます。詳しくは「送 信後に宛先を宛先表に追加」(→ P.6-19)を参照してください。
- ・LASER SHOT SCAN Utility for Admin で行う メイン画面の [ツール] メニューから [宛先表管理ツール] を選択して行います。詳し くは [LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド] または LASER SHOT SCAN Utility for Adminのヘルプを参照してください。

・Web ブラウザで行う ログインした画面で [宛先表] ボタンをクリックして行います。詳しくは「宛先表の登 録・管理をする」(→ P.6-27) を参照してください。

□ [△]、[▽] で宛先表から Eメールアドレスを選択して [実行] を押します。

必要に応じて、「CC:」、「BCC:」の欄にも同様にアドレスを指定します。

愛 ★
 えの先表に宛先が登録されている場合は、「To:」、「CC:」、「BCC:」の欄に宛先の「名前」または「Eメールアドレス」の先頭の数文字を入力し[実行]を押すと、宛先表に登録されいる Eメールアドレスを自動的に検索して表示します。

- 宛先が宛先表に登録されていない場合
 - □ [△]、[▽] で「To:」を選択します。
 - テンキーまたはキーボードでEメールアドレスを入力して[実行]を押します。
 必要に応じて、「CC:」、「BCC:」の欄にも同様にアドレスを入力します。
- メモ •文字の入力方法については「文字の入力のしかた」(→ P.3-10)を参照してください。
 - ●操作パネルで複数の宛先を入力するときは、宛先を「,」や「;」などで区切らずに[実行] を押し、改行してから入力してください。

4 Eメールのタイトルと本文を入力します。

タイトルを入力するには、 $[\Delta]$ 、 $[\nabla]$ で「Subj:」を選択します。 本文を入力するには、 $[\Delta]$ 、 $[\nabla]$ で「Memo:」を選択します。

```
From: admin@canon.co.jp
Subj: test
To : suzuki@canon.co.jp
Cc :
BCC :
Memo: PDFfile(color)
```

ダメモ ・タイトルは 64 文字まで入力できます。

- •本文は 612 文字(34 桁×18 行)まで入力できます。
- •英数字や記号のみ入力可能です。漢字やひらがななどの入力はできません。
- •文字の入力方法については「文字の入力のしかた」(→ P.3-10)を参照してください。
- 送信したメールの本文には、ここで入力した文字の他に以下の情報が自動的に追加されます。
 - ・画像タイプ
- ・画像サイズ
- ・スキャナの名称
- ・ファイル形式
- · PDF ファイルを送信した場合は、Adobe Acrobat Reader のダウンロード先
- ・ファイル名
- •「From:」の欄には以下のアドレスが自動的に入力されます。これらの設定をしていない 場合は、「To:」などと同様にアドレスを入力します。
- ・セットアップメニューの「カンリシャセッテイ」-「From (E メール)」で設定した E メールアドレス。(→ From (E メール): P.6-20)
- ・ユーザプロファイルで設定されている E メールアドレス。(E メール送信機能の使用者 制限をしている場合)
- ・「カンリシャセッテイ」の「管理者 E メールアドレス」で設定した E メールアドレス。 (E メール送信機能の使用者制限をしている場合で、管理者のログイン名とパスワードを 入力したとき)

5 画像の解像度を設定します。

[高解像モード]を押して、「標準モード」と「高解像モード」を切り替えます。高解像モードランプが点灯しているときが「高解像モード」です。



- ① 重要 「高解像モード」で送信すると、「標準モード」よりもデータ容量が大きくなりますので、 ご使用のネットワーク環境によっては、「高解像モード」で送信できない場合があります。 このような場合は、「標準モード」で送信してください。
- メモ
 「標準モード」および「高解像モード」の読み込み解像度は工場出荷時、以下のように設定されています。また、これらの解像度はセットアップメニューで変更することができます。(→ E メール: P.6-15)
 - ・標準モード(高解像モードランプ消灯)
 モノクロ読み込み:200dpi
 カラー読み込み:150dpi
 ・高解像モード(高解像モードランプ点灯)
 モノクロ読み込み:300dpi
 カラー読み込み:200dpi
 - 6 ファイル形式と画質を設定します。

ファイル形式の設定方法は、「ファイル形式を設定する」(→ P.5-9)を参照してください。 画質の設定方法は、「読み込む画質を設定する」(→ P.5-10)を参照してください。



7 [スタート] を押します。

カラー画像を送信するときは、[カラー]を押します。 モノクロ画像を送信するときは、[モノクロ]を押します。



8 宛先表に登録されていない宛先に送信した場合、「アテサキヒョウニツイ カシマスカ?」と表示されますので、以下のいずれかから宛先表に追加 する方法を選択し、[実行]を押します。

「ハイ」、「イイエ」、「スベテ」から選択します。

- •「ハイ」を選択した場合 ディスプレイに表示されている E メールアドレスを宛先表に追加します。
- •「イイエ」を選択した場合 ディスプレイに表示されている Eメールアドレスは宛先表に追加されません。
- 「スベテ」を選択した場合
 「To:」の欄に入力したすべてのEメールアドレスを宛先表に追加します。ただし、グルー プとしては登録しません。
- 必 メモ 宛先表には最大 2000 件までの E メールアドレスが登録できます。



9 Eメール送信を中止するには、[ストップ/クリア]を押します。



送信が中止されます。

- メモ すべてのページの読み込みが終了するまでに中止の操作を行えば、Eメールは送信されま せん。すでに読み込まれた画像は消去されます。
 - •フィーダに原稿をセットしている場合、[ストップ/クリア]を押すと以降のページは読 み込まれませんが、すべてのページを給紙して原稿排紙トレイに排紙します。排紙が終了 するまでしばらくお待ちください。

読み込みモードを設定する

ファイル形式を設定する

送信する画像のファイル形式を設定します。

ファイル形式は以下の3種類あります。

■ PDF 形式

PDF 形式で画像を送信します。複数ページを送信する場合、ひとつの PDF ファイルとして送信することができます。

モノクロ送信、カラー送信ともに工場出荷時は「PDF」に設定されています。

■ JPEG 形式

JPEG 形式で画像を送信します。カラー画像を送信するときのみ設定できます。 複数ページを送信する場合、ページ数分のファイルを送信します。

■ TIFF 形式

TIFF 形式で画像を送信します。マルチページ TIFF には対応していませんので、複数ページを送信する場合、ページ数分のファイルを送信します。

- ① 重要 TIFF 形式で画像を送信すると、JPEG や PDF に比べてデータ容量が大きくなりますので、JPEG や PDF で送信することをおすすめします。
- PDF を見るには Acrobat Reader が必要です。
 PDF と JPEG の圧縮率は、「圧縮率」(→ P.6-17)で設定することができます。
 - 1 [セットアップ]を押します。
 - 2 [△]、[▽] で「Eメール」を選択し、[実行] を押します。
 - 3 [△]、[▽] で「ファイルケイシキ(モノクロ)」(モノクロ送信時)または「ファイルケイシキ(カラー)」(カラー送信時)を選択し、[実行]を押します。

4 [∧]、[▽] でファイル形式を選択し、[実行] を押します。

以下のファイル形式が選択できます。

- カラー送信時:PDF、JPEG、TIFF
- モノクロ送信時: PDF、TIFF

5 [∧]、[▽] で「ホゾンシテモドル」を選択し、[実行] を押します。

読み込む画質を設定する

Г

原稿(文字原稿、写真原稿)の画質に応じて読み込む画質を調節することができます。画質 調節には次の2種類があります。

文字モード	写真モード
RESORT PLAN The world'scoral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other creatures of the tropics come together. Aptly nicknamed "Tropical torests under the sea". these spots of breathtaking beuty serve as home to countless varieties of life. And to us of the land, the warm tropical seas and all the romantic, drearn-like, alluring world. Sadly, however, the continuing contamination of the world's oceans in recent years has dealt blow after destructive blow to a great many reefs.	

■ 文字モード(モジ)

文字原稿の読み込みに適しています。青焼きや、うすい鉛筆書きの原稿でもきれいに読 み込みできます。

■ 写真モード (シャシン)

網点でつくられている写真原稿(印刷されている写真)および、印画紙にプリントされ ている写真の読み込みに適しています。

1 「セットアップ」を押します。

2 [∧]、[▽] で [Eメール] を選択し、[実行] を押します。

3 [△]、[▽] で「ゲンコウタイプ」を選択し、[実行] を押します。

5

4 [△]、[▽] で原稿のタイプを選択し、[実行] を押します。

原稿のタイプは「モジ」または「シャシン」から選択できます。

5 [△]、[▽] で「ホゾンシテモドル」を選択し、[実行] を押します。

原稿を連続読み込みするときは

操作パネルの[連続読込]を押すと、「連続読み込みモード」に入ります。

「連続読み込みモード」では、原稿台ガラスの原稿を差し替えながら読み込んだり、原稿台 ガラスとフィーダの両方から原稿を読み込むことができます。読み込んだ原稿は1つのメー ルに添付されますので、以下のようなときに便利です。

- ブック原稿の数ページ分を送信したいとき
 - →原稿台ガラスにブック原稿をセットして、ページをめくりながら読み込みます。
- •大量のページ数を一度に送信したいとき
 - →フィーダに一度にセットできる原稿は最大 25 枚ですので、25 枚以上の原稿を送信す るときは「連続読み込みモード」で読み込みます。
- •フィーダにセットできない原稿とセットできる原稿をまとめて送信したいとき
 - →原稿のセットする位置をフィーダと原稿台ガラスに分けて、差し替えながら読み込みます。

✓ メモ 「連続読み込みモード」で読み込める原稿の枚数は、データ容量によって異なります。

● Eメールの設定をします。

設定のしかたは、「Eメール送信の流れ」(→ P.5-2)を参照してください。

2 [連続読込]を押します。



連続読込ランプが点灯します。

5

3 原稿をセットします。



✓ メモ 原稿をセットする方法は、「原稿をセットする」(→ P.3-2)を参照してください。

4 [スタート] を押します。



原稿が読み込まれます。



原稿の読み込みが終了してから 15 秒経過すると、自動的に E メールの送信が開始されますので、速やかに次の原稿をセットしてください。





- 6 原稿を続けて読み込む場合は、繰り返し原稿を差し替えて [スタート] を 押します。
- 7 すべての原稿を読み終わったら、[連続読込]を押します。



連続読込ランプが消灯し、Eメールの送信が開始されます。



スキャナの環境を設定する

この章では、スキャナの設定をご利用に合わせて登録、変更する方法について説明しています。

設定のしかた 設定できるメニューの種類について 操作パネルから設定する Web ブラウザから設定する	
標準モードを変更する	6-8 6-8 6-10 6-11
セットアップメニューの設定項目	6-13
基本設定.	6-13
ネットワーク設定.	6-13
コピー	6-14
Eメール.	6-15
管理者設定	6-18
ファンクションキーの設定をする	6-21
操作パネルから登録する	6-22
Web ブラウザから登録する	6-22
宛先表の登録・管理をする	6-27
宛先を登録する	6-27
宛先を変更する	6-30
宛先を削除する	6-31
グループの設定をする	6-32
Eメール送信機能の使用者を制限する (ユーザプロファイル)	6-34
ユーザプロファイルを登録する	6-34
ユーザプロファイルを変更する	6-38
ユーザプロファイルを削除する	6-39
7キャナの情報を確認する (バージョンジョウホウ)	6-40
ヘイ ビノ の旧北で唯心 タ の いく ノコノノコノハノノ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

設定のしかた

本スキャナは、設置時に行う管理者の設定やネットワーク設定およびコピーや E メールの 環境などを設定することができます。

スキャナの環境の設定方法は以下の3種類あります。

■ スキャナの操作パネルで設定する方法

スキャナの操作パネルの [セットアップ] を押して設定します。

1	キホンセッティ
l .	
12.	ネットリークセッテイ
2	
J.	
4	FX-W
E.	
D.	ノアノウンヨノキー
6	カンルドシャカッティ
≌.	
1.	ハ・ーン・ヨンン・ヨワホワ
9	∓k*∥.
0.	

■ Web ブラウザで設定する方法

スキャナがネットワークに接続されている場合は、パソコンから Web ブラウザで設定し ます。



操作パネルからと Web ブラウザからは同じ設定が行えますが、以下の設定項目は操作パネ ルでは設定できません。

• 「宛先表の登録・管理をする」 (→ P.6-27)

•「Eメール送信機能の使用者を制限する (ユーザプロファイル)」(→P.6-34)

■ LASER SHOT SCAN Utility for Admin で設定する方法

スキャナがネットワークに接続されていて、LASER SHOT SCAN Utility for Admin が パソコンにインストールされている場合は、LASER SHOT SCAN Utility for Admin で 設定します。

●重要本書では、操作パネルで設定する方法とWebブラウザで設定する方法について説明しています。LASER SHOT SCAN Utility for Admin で設定する方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」または LASER SHOT SCAN Utility for Admin のヘルプを参照してください。

設定できるメニューの種類について

操作パネル	Webブラウザ	設定内容
キホンセッテイ	基本設定(設定メニュー)	スキャナの基本的な設定を行います。
ネットワークセッテイ	ネットワーク設定 (設定メニュー)	IPアドレスや各サーバのアドレスなど、スキャナの ネットワークの設定を行います。
JL°-	コピー(設定メニュー)	コピー機能の設定を行います。
EX-11	Eメール(設定メニュー)	Eメール機能の設定を行います。
ファンクションキー	ファンクションキー設定 (設定メニュー)	キーボードのファンクションキーの登録を行います。
カンリシャセッテイ	管理者設定	管理者のパスワードやセキュリティなどの設定を行 います。
ハ゛ーシ゛ヨンシ゛ヨウホウ	_	スキャナの情報を表示します。
_	宛先表	宛先表の登録・管理を行います。
_	ユーザプロファイル	Eメール機能に使用者制限を付けた場合のユーザの 登録を行います。

本スキャナは以下の設定メニューがあります。

操作パネルから設定する

操作パネルから設定するときは、[セットアップ]を押してセットアップメニューを表示さ せます。セットアップメニューでは、以下のキーを使用して設定を行います。

- ① 重要 ・セットアップメニューで各種設定を行った場合、必ずメニュー内にある「ホゾンシテモドル」を行ってください。行わないと設定が有効になりません。
 - ・メニュー内にある「ホゾンシテモドル」を行った場合でも、何も操作をしない状態が3分以上続くか、[ストップ/クリア]を押すと、標準モードに戻ります。標準モードの設定を変更する場合は、「カンリシャセッテイ」の「ゲンザイノセッテイヲヒョウジュンモードニスル」で行います。詳しくは、「標準モードを変更する」(→P.6-8)を参照してください。



Web ブラウザから設定する

Web ブラウザからの設定は以下の手順で行います。

- 重要
 Web ブラウザからスキャナに同時にアクセス可能なパソコンは5台までです。そのうち、 設定/登録ができるのは1台のみです。
 - Web ブラウザからの設定を行うには、パソコンに以下のブラウザがインストールされて いる必要があります。
 - \cdot Netscape Navigator 4.0 \sim 4.78
 - \cdot Internet Explorer 4.0 \sim 6.0
 - Web ブラウザの「設定メニュー」で各項目を設定して、[更新] ボタンをクリックしても、 何も操作をしない状態が3分以上続くか、操作パネルで[ストップ/クリア]を押すと、 標準モードに戻ります。標準モードの設定を変更する場合は、管理者設定の[現在の設定 を標準モードにする] ボタンをクリックします。詳しくは、「標準モードを変更する」(→ P.6-8)を参照してください。

- **2** [アドレス] または [場所] に本スキャナの IP アドレスを入力します。



ログイン画面が表示されます。「接続中です。お待ちください。」の表示が消えるまでしば らくお待ちください。

3 [ログイン] ボタンをクリックします。

この画面で「Canon」のロゴをクリックすると、キヤノンホームページへジャンプします。



SCAN-100」のロゴをクリックすると、スキャナのバージョン情報が表示されます。



4 「名前」(ログイン名)と「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

「名前」(ログイン名)と「パスワード」が設定されていない場合は、何も入力しないで [OK] ボタンをクリックします。

叠 Administrator Login Web ページ ダイア ログイン	oğ 🗙
名前 Iadmin パスワード *****	ОК

5 メニュー画面が表示されますので、設定したいボタンをクリックします。



6 設定が終了したら [保存] または [更新] ボタンを押します。





コピー機能とEメール機能の標準モード変更することができます。

標準モードとは電源を入れたり、操作パネルで [ストップ/クリア] を押したときに設定されている機能の組み合わせ(モード)です。ここでは、標準モードとして登録されている設定の変更をします。

※ メモ 設定を変更して何も操作をしない状態が3分以上続いたときにも自動的に標準モードに 戻ります。

操作パネルから設定する

操作パネルからは、以下の手順で設定します。

┦ 標準モードとして登録したい設定を行います。

コピー機能の設定は、「コピー」(→ P.6-14)を参照してください。 Eメール機能の設定は、「Eメール」(→ P.6-15)を参照してください。

2 [セットアップ] を押します。





4 ログイン名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ログインメ イ」を入力して[実行]を押します。

「ログイン名」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。

ロク゛ インメイ:	admin
/\° አワ−ド:	

5 「パスワード」を入力して[実行]を押します。

「パスワード」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。

በታ	admin
パ° スワート * :	****

6 [△]、[▽] で「ゲンザイノセッテイヲヒョウジュンモードニスル」を選択し、[実行] を押します。

1.	カンリシャロク インメイ :	admin
2.	カンリシャEメールアト゛レス :	
З.	カンリシャパ スワート :	****
4.	セキュリティキノウ(Eメール)	: OFF
5.	ソウシンコ゛ニアテサキヲアテサキヒョウニツイカ	: ON
6.	From (EX-1/) :	
7.	ケ゛ンサ゛イノセッテイヲヒョウシ゛ュンモート゛	ニスル
8.	キャンセル	

Web ブラウザから設定する

Web ブラウザからは、以下の手順で設定します。

標準モードとして登録したい設定をWeb ブラウザで行います。
 コピー機能の設定は、「コピー」(→ P.6-14)を参照してください。
 Eメール機能の設定は、「Eメール」(→ P.6-15)を参照してください。

2 メニュー画面で[管理者設定]ボタンをクリックします。

3 [現在の設定を標準モードにする] ボタンをクリックします。



設定項目一覧 6-11

設定項目一覧

■ 表の見かた

•太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ 基本設定(キホンセッテイ)

設定項目	設定値	参照ページ
テ゛ハ゛イスメイ	SCAN-100(16 文字まで入力可能)	P.6-13

■ ネットワーク設定(ネットワークセッテイ)

設定項目	設定値	参照ページ
IP 7ドレス	0.0.0.0	P.6-13
サフ゛ネットマスク	0.0.0.0	P.6-13
ታ` -ԻウェイアՒ` レス	0.0.0.0	P.6-13
SMTP サーバ	0.0.0.0 またはホスト名	P.6-13
SMTP ポート	25	P.6-14
DNS サーバ	0.0.0.0	P.6-14

■ コピー

設定項目	設定値	参照ページ
7° IJンタメイ	接続されているプリンタの名称	P.6-14
¥גזילפועיבע	▲4、A3*、A5、B4*、B5、LT、LG (*:接続されているブリンタによっては表示さ れません。)	P.6-14
ジイロジョキョ (モノクロスキャン)	ON, OFF	P.6-14

■Eメール

設定項目	設定値	参照ページ
Subject	Email from LASER SHOT SCAN(60文字 まで入力可能)	P.6-15
ファイルケイシキ(モノクロ)	PDF、 TIFF	P.6-15
ファイルケイシキ(カラー)	PDF, JPEG, TIFF	P.6-15

設定項目	設定値	参照ページ
ヒョウシ゛ュンカイソ゛ウト゛(モノクロ)	400、300、 200 、150、100、75	P.6-16
コウカイソ゛ウト゛(モノクロ)	600、400、 300 、200、150、100	P.6-16
ヒョウシ゛ュンカイソ゛ウト゛(カラー)	400、300、200、 150 、100、75	P.6-16
コウカイソ゛ウト゛(カラー)	600、400、300、 200 、150、100	P.6-17
ל״עבט״ל	Ευ΄ 、 <i>Σ</i> νούλ	P.6-17
アッシュクリツ	דר, דבל , בל	P.6-17
ジイロジョキョ (モノクロスキャン)	ON, OFF	P.6-18

■ファンクションキー設定(ファンクションキー)→P.6-21

■管理者設定(カンリシャセッテイ)

設定項目	設定値	参照ページ
カンリシャロク゛インメイ	16 文字まで入力可能	P.6-18
カンリシャ E メールアト゛レス	64 文字まで入力可能(Web ブラウザからは 60 文字まで入力可能)	P.6-18
カンリシャハ゜スワート゛	8 文字まで入力可能	P.6-19
セキュリティキノウ(Eメール)	ON, OFF	P.6-19
ソウシンコ゛ニアテサキヲアテサキヒョウニツイカ	ON 、OFF	P.6-19
From(E X-1)	60 文字まで入力可能	P.6-20
ケ゛ンサ゛イノセッテイヲヒョウシ゛ュンモート゛ニスル	_	P.6-20

■ バージョン情報(バージョンジョウホウ) → P.6-40

セットアップメニューの設定項目

基本設定

デバイス名【デバイスメイ】

SCAN-100

スキャナの名称を入力します。工場出荷時は「SCAN-100」に設定されています。

- 重要 ●デバイス名の変更は必ず管理者が行ってください。
 - ●デバイス名はEメール送信時、本スキャナのホスト名としてSMTPサーバに通知されるため、「∅」などの特殊な文字は使用しないでください。
- メモ 最大 16 文字まで入力できます。

ネットワーク設定

IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス

0.0.0.0

スキャナをネットワークに接続して使用するための設定をします。 「IP アドレス」には、スキャナの IP アドレスを入力します。「サブネットマスク」、 「ゲートウェイアドレス」には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを入力し ます。

- ●「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」が不明な場合は、ネット ワーク管理者にご連絡ください。
 - 本スキャナは「DHCP サーバ」は使用できません。

SMTP サーバ

0.0.0.0 またはホスト名

スキャナからEメールを送信するための設定をします。 SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名を入力する には「DNS サーバ」の設定が必要です。

SMTP ポート

25

SMTPポート番号を設定します。 通常は工場出荷時の「25」に設定しておいてください。

DNS サーバ

0.0.0.0

DNS サーバの IP アドレスを入力します。

DNS サーバの設定をすることで、「SMTP サーバ」にホスト名を入力すること ができます。

コピ-

プリンタ名【プリンタメイ】

現在接続されているプリンタの名称が表示されます。 プリンタ名は変更することができません。

出力サイズ【シュツリョクサイス、】

A4、A3*、A5、B4*、B5、LT、LG

*「A3」、「B4」は接続されているプリンタによっては表示されません。 出力する用紙のサイズを設定します。

地色除去(モノクロスキャン)【ジイロジョキョ(モノクロスキャン)】

ON、OFF

原稿の地色(背景の色)を消去して読み込みます。

本項目は、モノクロコピーの地色除去機能の ON / OFF を設定することができます。

● メモ カラーコピー時は画質の設定により地色除去の ON / OFF が自動的に決まります。「モジ」または「モジ+シャシン」になっていると地色除去機能が ON になり、「シャシン」になっていると地色除去機能が OFF になります。(→コピーする画質を設定する: P.4-9)



Subject

Email from LASER SHOT SCAN

E メールのタイトルを入力します。工場出荷時は「Email from LASER SHOT SCAN」に設定されています。

ここでタイトルを入力しておくと、E メールを送信するときの「Subj:」欄にあ らかじめ入力されます。

ファイル形式(モノクロ)【ファイルケイシキ(モノクロ)】

PDF、TIFF

モノクロ画像を送信するときのファイル形式を設定します。

- ファイル形式は以下の種類があります。
- PDF:PDF形式で画像を送信します。複数ページを送信する場合、ひとつのPDF ファイルとして送信することができます。
- TIFF: TIFF形式で画像を送信します。マルチページTIFFには対応していませんので、複数ページを送信する場合、ページ数分のファイルを送信します。
- ① 重要 TIFF 形式で画像を送信すると、PDF に比べてデータ容量が大きくなりますので、PDF で送信することをおすすめします。
- ◆ メモ PDF を見るには Acrobat Reader が必要です。
 - PDF の圧縮率は、「圧縮率」(→ P.6-17) で設定することができます。

ファイル形式(カラー)【ファイルケイシキ(カラー)】

PDF、JPEG、TIFF

カラー画像を送信するときのファイル形式を設定します。

ファイル形式は以下の種類があります。

- PDF: PDF形式で画像を送信します。複数ページを送信する場合、ひとつの PDF ファイルとして送信することができます。
- JPEG: JPEG形式で画像を送信します。 複数ページを送信する場合、ページ数 分のファイルを送信します。
- TIFF: TIFF形式で画像を送信します。マルチページTIFFには対応していません ので、複数ページを送信する場合、ページ数分のファイルを送信します。
- ① 重要 TIFF 形式で画像を送信すると、PDF や JPEG に比べてデータ容量が大きくなりますの で、PDF や JPEG で送信することをおすすめします。

6

● PDF を見るには Acrobat Reader が必要です。
 ● JPEG と PDFの圧縮率は、「圧縮率」(→ P.6-17)で設定することができます。

標準(モノクロ)【ヒョウジュンカイゾウド(モノクロ)】

400、300、**200**、150、100、75

モノクロ画像を送信するときの「標準モード」の解像度を設定します。 画像の解像度の設定は「標準モード」と「高解像モード」があり、本項目で設定 した解像度が「標準モード」の解像度になります。

E メールを送信するときの解像度の切り替えは、操作パネルの[高解像モード] を押します。高解像モードランプが消えた状態が「標準モード」です。

● 重要 解像度の設定を上げるとデータ容量が大きくなりますので、ご使用のネットワーク環境に応じた解像度に設定することをおすすめします。

高(モノクロ)【コウカイゾウド(モノクロ)】

600、400、**300**、200、150、100

モノクロ画像を送信するときの「高解像モード」の解像度を設定します。

画像の解像度の設定は「標準モード」と「高解像モード」があり、本項目で設定 した解像度が「高解像モード」の解像度になります。

E メールを送信するときの解像度の切り替えは、操作パネルの[高解像モード] を押します。高解像モードランプが点灯した状態が「高解像モード」です。

● 重要 解像度の設定を上げるとデータ容量が大きくなりますので、ご使用のネットワーク環境に 応じた解像度に設定することをおすすめします。

標準(カラー)【ヒョウシ゛ュンカイソ゛ウト゛(カラー)】

400、300、200、**150**、100、75

カラー画像を送信するときの「標準モード」の解像度を設定します。 画像の解像度の設定は「標準モード」と「高解像モード」があり、本項目で設定 した解像度が「標準モード」の解像度になります。

E メールを送信するときの解像度の切り替えは、操作パネルの[高解像モード] を押します。高解像モードランプが消えた状態が「標準モード」です。

● 重要 解像度の設定を上げるとデータ容量が大きくなりますので、ご使用のネットワーク環境に応じた解像度に設定することをおすすめします。
高(カラー)【コウカイゾウド(カラー)】

600、400、300、**200**、150、100

カラー画像を送信するときの「高解像モード」の解像度を設定します。 画像の解像度の設定は「標準モード」と「高解像モード」があり、本項目で設定 した解像度が「高解像モード」の解像度になります。

E メールを送信するときの解像度の切り替えは、操作パネルの[高解像モード] を押します。高解像モードランプが点灯した状態が「高解像モード」です。

● 重要 解像度の設定を上げるとデータ容量が大きくなりますので、ご使用のネットワーク環境に 応じた解像度に設定することをおすすめします。

原稿タイプ【ゲンコウタイプ】

モシ、 シャシン

原稿(文字原稿、写真原稿)の画質に応じて読み込む画質を調節することができます。画質調節には次の2種類があります。

■ 文字モード(モジ)

文字原稿のコピーに適しています。青焼きや、うすい鉛筆書きの原稿でもきれ いにコピーできます。

■ 写真モード (シャシン)

網点でつくられている写真原稿(印刷されている写真)および、印画紙にプリ ントされている写真のコピーに適しています。

圧縮率【アッシュクリッ】

F1、**F10**、 DD

画像を PDF と JPEG で送信するときの圧縮率の設定をします。

「テイ」に設定すると、画質はあまり低下しませんが、送信するファイルのサイズが大きくなります。「コウ」に設定すると、送信するファイルのサイズは小さくなりますが、画質が低下します。

● メモ ●それぞれの圧縮率の目安は以下の通りです。

・カラー送信時(PDF、JPEG 共通)
 「テイ」:約1/10
 「チュウ」:約1/10~1/30
 「コウ」:約1/30
 ・モノクロ送信時(PDF)
 「テイ」:約1/3
 「チュウ」:約1/3~1/5
 「コウ」:約1/5

ON、OFF

原稿の地色(背景の色)を消去して読み込みます。

本項目は、モノクロ画像を送信するときの地色除去機能の ON / OFF を設定することができます。

管理者設定

管理者ログイン名【カンリシャロク・インメイ】

管理者のログイン名を登録・変更します。

「カンリシャログインメイ」にログイン名を入力し、[実行]を押します。 「カクニンニュウリョク」に同じログイン名を入力し、[実行]を押します。

- ・ログイン名を設定しない場合は、「カンリシャログインメイ」と「カクニンニュウリョク」 に何も入力しないで[実行]を押します。
 - •半角英数字のみで最大16文字まで入力できます。また、英字は大文字と小文字の区別はしません。

管理者Eメール【カンリシャEメールアト・レス】

管理者の E メールアドレスを登録・変更します。

この E メールアドレスは、「セキュリティ機能(E メール)」が「ON」に設定されているときに表示される、ログイン名とパスワードの入力欄に管理者のログイン名とパスワードを入力すると、Fromの欄に入力されます。 「アタラシイEメールアドレス」にEメールアドレスを入力し、[実行]を押します。 「カクニンニュウリョク」に同じE メールアドレスを入力し、[実行]を押します。

- - 操作パネルからは、半角英数字のみで最大 64 文字まで入力できます。Web ブラウザからは、半角英数字のみで最大 60 文字まで入力できます。

^{かラー送信時は常に地色除去機能が OFF の状態で読み込みます。設定の変更はできません。}

管理者のパスワードを登録・変更します。

このパスワードは、セットアップメニューの管理者設定とネットワーク設定を行うときに入力します。 「ゲンザイノパスワード」に変更前のパスワードを入力し、[実行]を押します。 「パスワード」が設定されていない場合は、何も入力しないで[実行]を押します。 「アタラシイパスワード」に変更後のパスワードを入力し、[実行]を押します。 「カクニンニュウリョク」に同じパスワードを入力し、[実行]を押します。

- メモ ・パスワードを設定しない場合は、「アタラシイパスワード」と「カクニンニュウリョク」 に何も入力しないで[実行]を押します。
 - •半角英数字のみで最大 8 文字まで入力できます。また、英字は大文字と小文字の区別はしません。

セキュリティ機能(Eメール)【セキュリティキノウ(Eメール)】

ON、OFF

Eメール機能の使用者を制限します。

「ON」に設定すると、Eメールを送信するときにログイン名とパスワードの入力 画面が表示されます。ログイン名とパスワードの設定は、WebブラウザやLASER SHOT SCAN Utility for Admin から行います。(→Eメール送信機能の使用者 を制限する (ユーザプロファイル): P.6-34)

 E メールの送信後は、キーボードの [Logout] を押してログアウトします。また、何も 操作をしない状態が 3 分以上続いたときも自動的にログアウトします。

送信後に宛先を宛先表に追加【ソウシンゴニアテサキヲアテサキヒョウニツイカ】

ON、OFF

Eメール送信時に操作パネルのテンキーやキーボードで入力した宛先(To)を送 信後に宛先表に追加する設定をします。

「ON」に設定すると、送信時に「アテサキヒョウニツイカシマスカ?」と表示されます。以下のいずれかから宛先表に追加する方法を選択することができます。 「OFF」に設定すると、宛先表に追加しません。

- 「ハイ」を選択した場合
- ディスプレイに表示されているEメールアドレスを宛先表に追加します。
- 「イイエ」を選択した場合
- ディスプレイに表示されているEメールアドレスは宛先表に追加されません。

「スベテ」を選択した場合

「To:」の欄に入力したすべての E メールアドレスを宛先表に追加します。ただ し、グループとしては登録しません。

6

スキャナの環境を設定する

From $(E \times - J \nu)$ [From $(E \times - J \nu)$]

Eメールの From (差出人)を入力します。

ここで From (差出人)を入力しておくと、E メールを送信するときの「From」 欄にあらかじめ入力されます。

✓ メモ 最大 60 文字まで入力できます。

現在の設定を標準モードにする【ゲンザイノセッテイヲヒョウジュンモードニスル】

セットアップメニューで設定した内容を本機のメモリに保存します。 管理者設定をした場合は、必ず本項目で設定内容を保存してください。 コピー設定やEメール設定を変更して本項目を実行すると、設定内容が標準モー ドとして登録されます。(→標準モードを変更する:P.6-8)

メモ 本項目で設定した内容は電源をオフにしたり、[ストップ/クリア]を押しても消えません。

ファンクションキーの設定をする

ファンクションキーには、コピーをとるときや E メールを送信するときの設定を登録する ことができます。ファンクションキーを使用すると、キーボード上のファンクションキー (Fn1 ~ Fn6)を押して、[スタート]を押すだけで、コピーやEメールの送信がお好みの 設定で行えます。

ファンクションキーは操作パネル、Web ブラウザ、LASER SHOT SCAN Utility for Admin から登録することができます。

ファンクションキーには以下の内容が登録できます。

④ メモ LASER SHOT SCAN Utility for Admin からの設定方法は、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。

■ コピー機能

倍率【バイリツ (25 ~ 400%)】
出力サイズ【シュツリョクヨウシサイズ】
原稿タイプ【ゲンコウタイプ】
部数【ブスウ】
解像度【カイゾウド】
地色除去(モノクロスキャン)【ジイロジョキョ(モノクロスキャン)】

■ E メール機能

From: [From:]
Subject: 【Subj:】
TO: 【To:】
CC: [CC:]
BCC: [BCC:]
本文:【Memo:】
ファイル形式(モノクロ)【ファイルケイシキ(モノクロ)】
ファイル形式(カラー)【ファイルケイシキ (カラー)】
標準(モノクロ)【ヒョウジュンカイゾウド(モノクロ)】
高(モノクロ)【コウカイゾウド(モノクロ)】
標準(カラー)【ヒョウジュンカイゾウド(カラー)】
高(カラー)【コウカイン゙ウド(カラー)】
原稿タイプ【ゲンコウタイプ】
圧縮率【アッシュクリツ】
地色除去(モノクロスキャン)【ジイロジョキョ(モノクロスキャン)】

操作パネルから登録する

操作パネルからは以下の手順で登録します。

- 1 [セットアップ] を押します。
- 2 [△]、[▽] で「ファンクションキー」を選択し、[実行] を押します。
- 3 [△]、[▽] で [ファンクションキー1 ノセッテイ]を選択し、[実行] を 押します。

ファンクションキーは 6 個まで登録でき、それぞれ「ファンクションキー 1 ノセッテイ」 ~「ファンクションキー 6 ノセッテイ」で登録します。

- 4 [△]、[▽] で「コピー」、「Eメール」のいずれかを選択し、[実行] を押します。
- 5 各モードの設定をしたあと [ホゾンシテモドル] を選択して [実行] を 押します。

Web ブラウザから登録する

Web ブラウザからは以下の手順で登録します。

✔ Web ブラウザを起動し、メニュー画面を表示させます。

メニュー画面は「Web ブラウザから設定する」(→ P.6-4)の手順 1 ~ 4 を行って表示さ せます。



3 [ファンクションキー設定] ボタンをクリックします。





9 SCAN-10 ファイル(E)	0 - Micross 編集(E)	oft Interr 表示(vetExplor ⊻) 8%	rer (に入り(A)	ッールの	ヘルプロ	,	-	-	-		-	
(中 戻る	• ⇒		● ●止	(1) 更新	ж-4	Q 検索	(1) 1) 1) 1) 1) 1) 1)	S RE			园 - 編集 -	15 10 15 10	
アドレス(①)	虧 http://	192.168.0).215/inde	schtm							•	@移動	リンク ×
			≚ 基本語	i定 <i>★</i> ネ	シットワーク設	く 部 ま ヨコ	定 K- G D	K−ル (©)	ファンクション	(牛一酸定)			<u>*</u>
					7	マンケシ	ョンキー	役定					
									-				
					#2 E =	14			-				
					#3								
					24	-			Street.				
					#5	-							
					#6								-
						10	21						
							- <u>Ko</u>						
													-
1											しゅん	ターネット	

5 [コピー] または [Eメール] を選択します。

TSCAN-100 - Microsoft Internet Explorer ファイル(E) 編集(E) 表示(y) お気に入り	1& y-rT ^r7B	_	
(> . → . ③ 10 R5 int +L 10			
ドレス(D) 🛃 http://192.168.0.215/index.htm	n		• ご移動 リンク
	ユビー Eメール キー3: コビー 使年 数ガサイズ 原一「「○○○」 第200 (○○○」 第200 (○○) 第200 (○○) 第200 (○○) 第200 (○○○」 第200 (○○○」 第200 (○○○」 第200 (○○○」 第200 (○○○」 第200 (○○) 第200 (○○) 第2	(25°40030) 昇載タイナ: 下 雪 新発度: 本 雪 ユスキャン3: 雪	
	2 1 1	rel and	

● コピーの場合

□ 設定後、[更新] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに設定画面から抜けます。

ファイル(ビ) 編制	N(E) 表示	W 1	時気に入り色	シール田	ヘルプ田							1
令 · 戻る ·	⇒ .	⊕≟	(2) 更新	<u>a</u>		お気に入り				2010年	· 三 訪期	
アドレス(D) @ ht	lp://192.168	3.0.215/1	index.htm							۲	@移動	1924
				4.574.3				14.314.2				
			a===	-	- E	メール						
					+-3	: =Ľ-						
			1	-		(A.10	(25"400%	1				
				100	×	10+	120 4004	-				
				GILLI	出力サイス		原稿タイン	9 :				
				A4		1 () ()	¥ 👱					
			1	1	37 Q	: [@]	新保度 *					
				(m)	地色	除去(モノク	+ ニ ロスキャン):				
				17				1				
				-	-		ARCON.	/				
				P	a	ŦŦ	rel	R				
				5		0	1 4	X				
						/	1	Sin	6			
							1the	Carl				

● E メールの場合

□ 各項目を入力して、[続行] ボタンをクリックします。

[Eメールアドレス]ボタンをクリックすると、宛先表から宛先を選ぶことができます。

7991NE)	編集(E)	表示②	お気に入り(金)	ツールの	~117W		-53		-		_	19
~ · 顾	→ 進む	- 🔐) <u>(</u>) : 更新		の検索	を お気に入り			1000 E000	22100-2223-2223-2223-2223-2223-2223-2223		
『ドレス(①) 🙋	http://1	92.168.0.215	5/index.htm							۲	<i>∂</i> 移動	リンク
												1
			🖻 🗆 L	?	E	メール						
					≠-3:	Eメール		_				
			IIG	21				rom				
			G	U			Sut	bject:				
				2]								
			113	51				TO:				
			U					CC:				
				21								
			[13]	2]				BCC:				
			0				2	本文 :				
				2								
			-		EX-J	レアドレス	1	->				
					1	10	1	N				
					8	5 17	11	Sar.	60			
					6			Carre				
										しゅん	ターネット	

□ 設定後、[更新] ボタンをクリックします。

[戻る] ボタンをクリックすると、前の画面に戻ることができます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに設定画面から抜けます。



宛先表の登録・管理をする

宛先表に宛先を登録すると E メールを送信するときに [宛先表] を押して、宛先を指定で きるようになります。

また、複数の宛先をグループとして登録することができます。

宛先表は Web ブラウザと LASER SHOT SCAN Utility for Admin から登録・管理する ことができます。

- 🕛 重要 🛛 登録できる宛先は、最大 2000 件までです。
- LASER SHOT SCAN Utility for Admin からの設定方法は、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。
 - •LASER SHOT SCAN Utility for Admin を使用すると、宛先の登録・変更の他に、メー ルソフト (Microsoft Outlook) や他の SCAN-100 から宛先表をインポートすること ができます。詳しくは、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」 を参照してください。

宛先を登録する

宛先の登録は以下の手順で行います。

1 Web ブラウザを起動し、メニュー画面を表示させます。

メニュー画面は「Web ブラウザから設定する」(→ P.6-4)の手順1~4を行って表示させます。

2 [宛先表] ボタンをクリックします。



3 [Eメール] ボタンをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。



4 「名前」、「Eメールアドレス」、「説明」を入力し、「終了」 ボタンをクリックします。

[続行] ボタンをクリックすると、続けて登録することができます。

SOAN-100 - Microsoft Internet Explorer ファイル(E) 編集(E) 表示(L) お気に入り(A) ツール(E) ヘルブ(E)		
		(1) 編集 話類
パドレス① 値 http://192.168.0.215/index.htm		▼ ∂移動 りンク:
	2	<u>-</u>
如元表	1999	
3		
新規Eメールアドレスの追加		
· 名前: puzuki	1	
Eメールアドレス: [suzuki@canon.co.jp		
1 說明:)	
10001 <u>(*? 1</u>		
1		
1	1260	
3		
1		
	p	
		インターネット

- ① 重要 「名前」の欄には半角英数字のみを使用してください。全角文字を使用すると、正しく表示されません。
- ✓ メモ 「名前」は最大16文字、「Eメールアドレス」は最大60文字まで入力できます。

5 [保存] ボタンをクリックします。

[戻る] ボタンをクリックすると、編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されます ので、保存する場合は [OK] ボタンをクリックします。保存しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



設定がスキャナに保存されます。保存終了後、[戻る] ボタンをクリックします。

宛先を変更する

宛先の変更は「宛先を登録する」(→前項目)の手順3の画面で、変更する宛先を選択して [編集] ボタンをクリックします。



宛先を変更し、〔更新〕ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに前の画面に戻ります。



[保存] ボタンをクリックし、保存終了後、[戻る] ボタンをクリックします。

宛先を削除する

宛先の削除は「宛先を登録する」(→P.6-27)の手順3の画面で、削除する宛先を選択して[削除] ボタンをクリックします。



確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

SCAN-100 - Microsoft Internet Explorer	_D×
ファイル(E) 編集(E) 表示(E) お気に入り(A) ツール(E) ヘルプ(E)	80) 100
アドレス(D) @ http://192.168.0.215/index.htm	 ・ ・ ・
Construction of the constr	A B C C D E E E G H I J K L N N O P O R R A T U V W X X Y Y Z
(F)	A Andrezak
per l	<u>ال</u> الا محمد معدر ال

[保存] ボタンをクリックし、保存終了後、[戻る] ボタンをクリックします。

グループの設定をする

グループへの登録や変更、削除は以下の手順で行います。

- 重要 グループは最大 100 グループまで登録できます。
 - ひとつのグループ内に登録できる宛先は、最大 99 宛先までです。
 - 1 「宛先を登録する」(→ P.6-27)の手順3の画面で、[グループ]ボタン をクリックします。





[追加] ボタンをクリックします。





ここをクリックすると、登録した Eメールアドレスを削除します。

4 [保存] ボタンをクリックします。

[戻る] ボタンをクリックすると、編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されますので、保存する場合は [OK] ボタンをクリックします。保存しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

SCAN-100	- Microso	ft Internet	Explorer									- 0 >
7140D	編集(E)	表示②	お気に入り(金)	ツール①	~117CE				a	-		100
(2) . 戻る	→ 近ち	- B) [2] E 更新	 *−	の被索	お気に入り				201 、		
アドレス(①)	http://1	92.168.0.21	5/index.htm							۲	<i>∂</i> 移動	リンク
		01011720		11-30.01-5	01-301-2		11250.02				10110	1011
	1		回宛	先表		1	¢.	Ŵ		1		
	-						メール	グループ		100		
	-		追加◎		目前間	0	1.1	1 H O	AB	1975		
	1	グルー	ブー覧:	例:名龍	前/説明				C			
	1	Imme	H/						E			
									G	1800		
	1								H 1	120		
	-								J	1949		
	-								L	1923		
	-								M			
	1								OP			
	-								Q			
	1								RS			
	1								T	1.523		
	-								v	1.12		
	1	1							w	1.20		
	- 2	<	保存				< 戻	5	Y	1.000		
	1								-	P		
1										● 化	ターネット	

設定がスキャナに保存されます。保存終了後、〔戻る〕ボタンをクリックします。

Eメール送信機能の使用者を制限する (ユーザプロファイル)

管理者設定で「セキュリティ機能(Eメール)」(→ P.6-19)の設定を「ON」にすると、Eメール機能を使用するときに「ログイン名」と「パスワード」の入力が必要になります。

ここでは、使用者用の「ログイン名」と「パスワード」などを設定するユーザプロファイル の登録、削除、変更を行います。

ユーザプロファイルの設定は Web ブラウザと LASER SHOT SCAN Utility for Admin から登録・管理することができます。

- 重要 ユーザプロファイルの設定をするときは、あらかじめ管理者設定の「管理者ログイン名」
 (→ P.6-18) および「管理者 E メール」(→ P.6-18) の両方を設定しておいてください。
- メモ Eメール送信機能の使用者を制限しているときは、Eメール機能の使用後、キーボードの [Logout]を押してログアウトします。また、何も操作をしない状態が 3 分以上続いた ときも自動的にログアウトします。
 - LASER SHOT SCAN Utility for Admin からの設定方法は、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。

ューザプロファイルを登録する

ユーザプロファイルの登録は以下の手順で行います。

① 重要 ユーザプロファイルで設定した「E メールアドレス」は、宛先表にも追加されます。宛先表でユーザプロファイルで設定した E メールアドレスを削除すると、ユーザプロファイルの設定も削除されますので気を付けてください。

┦ Web ブラウザを起動し、メニュー画面を表示させます。

メニュー画面は「Web ブラウザから設定する」(→ P.6-4)の手順1~4を行って表示させます。

2 [ユーザプロファイル] ボタンをクリックします。



3 [追加] ボタンをクリックします。



4 [名前]、[パスワード]、[Eメールアドレス]、[説明]を入力し、[終了] ボタンをクリックします。

[続行] ボタンをクリックすると、続けて登録することができます。



- ① 重要 「名前」の欄には半角英数字のみを使用してください。全角文字を使用すると、正しく表示されません。
- メモ ●操作パネルで入力する「ログインメイ」は「名前」に入力した文字です。
 - [Eメールアドレス]は、Eメール送信時の「From」の欄に入力されます。
 - •「名前」は最大16文字、「パスワード」は最大8文字、「Eメールアドレス」は最大75文字 まで入力できます。

5 [保存] ボタンをクリックします。

[戻る] ボタンをクリックすると、編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されますので、保存する場合は [OK] ボタンをクリックします。保存しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

ファイルビー 編	謙(E) 表示·	◎ お気に入り④	ツール田 へん	ν.ED		-			_	
~ · 原3	→ - 迎む	○ ○ 中止 更新		0, 100 B		メール		國 . 編集		
ドレス(D) (色) r	nttp://192.168/	0.215/index.htm						۲	@移動	IJ
	-			1900-100-1	0105010	015075	010000			
		772-	ーザプロファ	イル				1		
	-	追加◎	1.81	18 O	1.8	(集 ()	AB	199		
	5	髦:例:名前/Eメー	ルアドレス/説明				CD			
	-	zuki / suzuki@car	on co.jp /				E			
							F G	1993		
	-						H 1	1202		
							J	1.20		
							L	1.200		
							N	1979		
	-						OP			
	2						Q			
	-						S			
	-						TU			
	3						VW			
	= /						X			
	3.	CHH					Y Z			
	1	Service Protection						"		

設定がスキャナに保存されます。保存終了後、[戻る] ボタンをクリックします。

ユーザプロファイルを変更する

ユーザプロファイルの変更は「ユーザプロファイルを登録する」(→前項目)の手順3の画 面で[編集]ボタンをクリックします。



内容を変更し、〔更新〕ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに前の画面に戻ります。



[保存] ボタンをクリックし、保存終了後、[戻る] ボタンをクリックします。

ユーザプロファイルを削除する

ユーザプロファイルの削除は「ユーザプロファイルを登録する」(→P.6-34)の手順3の 画面で [削除] ボタンをクリックします。

SCAN-100 – Microsoft Internet Explorer	_ 🗆 🗵	
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ツール(E) ヘルブ(E)	110 A	
アドレス型 創 http://192.168.0.215/index.htm		
	А п С О С С С С С С С С С С С С С	— ここをクリックすると、クリック した英字で始まるユーザプロファ イルにジャンプします。

確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

SCAN-100 - Microsoft Inter	net Explorer							-0×
→ → - → - 戻る inth			ッ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			团 ·	100 ES 200	
アドレス(D) @ http://192.168	0.215/index.htm						@移動	リンク >>
	L B A O L B A O L M ABY/EX-1 lata / naturblan w/ statuban Cul / subilian	・ザブロファ・ レボドレス/説明 レボドレス/説明 のroop/ オーク ののの レブドレス/説明 レボドレス/説明	TIL B O Explorer TEJSLITER #452E	編集 0 編集 0 版 版 版	A B C D E F F G G H I J J K L L M N N O O P P Q Q R S S T U U V W W X Y Y Y Z			
<u>ا</u>						🖉 125	1一ネット	

[保存] ボタンをクリックし、保存終了後、[戻る] ボタンをクリックします。

スキャナの情報を確認する (バージョンジョウホウ)

バージョン情報を表示すると、以下のスキャナの情報を確認することができます。

現在のスキャナの状態を確認したいときや、トラブルなどでお買い求めの販売店などに連絡 する際にご利用ください。

1	操作パネル	設定内容
セイヒンメイ	SCAN-100	本スキャナの製品名称
IPアドレス	*** *** ***	スキャナのIPアドレス
MAC ፖኑ ህス	*****	本スキャナの製造番号
セイソ゛ウモト	Canon Inc.	本スキャナの製造元
ファームウェアハ゛ーシ゛ヨン	***_***_***	本スキャナのファームウェアのバージョン 以下のバージョンがハイフン(-)で仕切られて 表示されます。 システムのファームウェア - スキャナのファーム ウェア - 言語 - プリンタプロファイル

デバイス情報は以下の手順または操作パネルの[バージョン情報]やキーボードの[①]を 押して表示させます。

1. [セットアップ] を押します。

2. [△]、[▽] で「バージョンジョウホウ」を選択し、[実行] を押します。

3. デバイス情報画面を閉じるときは、「モドル」にカーソルを合わせて、[実行]を押します。



トラブル&メンテナンス

この章では、トラブルの対処法や日常のお手入れについて説明しています。

紙づまりが起きたときには7	<i>'</i> -2
エラーメッセージー覧	'-5 7-6
サービスコール表示	16
正しくコピーまたはEメール送信ができなかったときには7- 電源や動作のトラブル	18 18 20 21
日常のお手入れ	22 22 26
フィーダの分離パッドを交換する7-2	29

紙づまりが起きたときには

フィーダに原稿がつまると、ディスプレイに「ADF ヲカクニンシテクダサイ」と表示されます。

このようなときは、以下の手順でつまっている用紙を取り除いてください。

- ▲注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってくだ さい。
- 重要・無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
 - 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。





2 排紙部につまっている用紙を取り除きます。



3 フィーダを開け、つまっている用紙を取り除きます。







4 フィーダを閉め、フィーダの上カバーを閉めます。





スキャナの使用中に、何らかの理由で使用不可能な状態(エラー状態)になると、ディスプ レイにトラブル内容を示すメッセージやエラーコードを表示します。

<u>プリンタヲカクニンシテクタ゛サイ</u>	— メッセージ
	т <i>ラ</i> к
ソ゛ッコウスルニハ、イス゛レカノキーヲオシテクタ゛サイ	

これらのメッセージやエラーコードが表示されたときは、「メッセージー覧」(→ P.7-6)または「エラーコード一覧」(→ P.7-9)を参照して、トラブルを解決してください。

- ・エラーコードは、メッセージよりも詳細なエラーの状態を知ることができますので、「メッセージー覧」を参照してもトラブルが解決しない場合や、詳細なエラーの状態を知りたいときは「エラーコードー覧」を参照してください。
 - ディスプレイにメッセージやエラーコードが表示されたときに、次のように対処を選択できる場合があります。このような場合は、対処を〔△〕、〔▽〕で選択し、〔実行〕を押してください。

Eメールソウシンニシッパ。イシマシタ エラーコート*: 20512 1. Eメール チュウシ 2. サイシコウ 3. セッテイヘンコウ		
センタクシテクタ゛サイ	1	

メッセージー覧

E メールソウシンニシッパ°イシマシタ

- **原因1** ネットワークと正しく接続されていないため、Eメールを送信できない
- 処置1 LAN ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。(→ LAN との接続: P.2-12)
- 処置2 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を正しく設定してください。(→ネットワーク設定: P.6-13)
- 処置3 「SMTPサーバ」、「SMTPポート」を正しく設定してください。「SMTPサーバ」 にサーバのホスト名を入力した場合は、「DNSサーバ」の設定もしてください。 (→ネットワーク設定: P.6-13)
- 処置4 上記の処置を行っても問題が解決しない場合は、メッセージの下に記載されている5桁のエラーコードをもとに問題を解決します。(→エラーコード一覧:P.7-9)
- **原因2** サーバ側で設定している容量の割り当てを超えたためEメールを送信できない
- **処置1** 送信するファイルの形式が「TIFF」に設定されている場合は、「PDF」または 「JPEG」(カラー送信時のみ)に設定して送信しなおしてください。
- 処置2 送信する解像度を下げて送信しなおしてください。
- 処置3 送信する原稿の枚数を減らして送信しなおしてください。
- 処置4 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

スキャナエラー スキャナヲカクニンシテクタ゛サイ

- 原因 スキャナが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。

スキャナハート゛ウェアエラー

- 原因 スキャナが故障している可能性がある
- 処置 「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

ランフ。エラー

- **原因1** (エラーコードに 10006 と表示されている場合) 周囲の温度が低いため、スキャ ナのウォームアップに時間がかかっている
- 処置しばらく(約5分)待ってから操作しなおしてください。
- ① 重要 スキャナを設置している周囲の温度が低いときは、ウォームアップに時間がかかり、電源 をオンにしたときやスリープモードを解除したときに上記のメッセージが表示されることがあります。このような場合は、設置場所を変更してお使いになることをおすすめします。
- 原因2 スキャナのランプが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

ケ゛ンコウヨミトリユニットエラー

- 原因 スキャナのセンサが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

ロックスイッチヲカイシ゛ョシテクタ゛サイ

- 原因 スキャナの「ロック解除スイッチ」が解除されていない
- 処置「ロック解除スイッチ」を「ロック解除位置」にしてください。(→スキャナのロックを解除する: P.2-5)

ADF ヲカクニンシテクタ゛サイ

- 原因1 原稿の読み込み中に紙づまりが起こった
- 処置 つまっている原稿を取り除いてください。(→紙づまりが起きたときには: P.7-2)
- 原因2 スキャナが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

コヒ。ーエラー

- 原因 スキャナが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

コヒ゜ーキノウ シヨウフカ

- 原因 プリンタプロファイルがスキャナに入っていないためコピー機能が使用できない
- 処置 プリンタプロファイルを更新してください。(→プリンタの設定をする(プリンタ プロファイルの更新): P.2-30)

プリンタヲカクニンシテクタ゛サイ

- 原因1 プリンタと正しく接続されていないためコピーできない
- 処置 スキャナとプリンタを接続しているケーブルが正しく接続されているかを確認してください。(→プリンタとの接続: P.2-10)
- 原因2 プリンタの電源がオフになっている
- 処置 プリンタの電源をオンにしてコピーしなおしてください。
- 原因3 プリンタがオフラインになっている
- 処置 オンラインキーを押し、プリンタをオンラインにしてください。(→プリンタに付属のユーザーズガイド)
- 原因4 プリンタ側でエラー(紙づまりを含む)が発生している
- 処置 プリンタのエラー(紙づまりを含む)を解消してください。(→プリンタに付属の ユーザーズガイド)
- **原因5** プリンタ側の設定でパラレルインタフェースからの受信ができないようになって いる
- 処置 プリンタのセットアップメニューの「インタフェース選択」を「ジドウ」または 「セントロニクス」に設定してください。(→プリンタに付属の LIPS 機能ガイド)

エラーコード一覧

10001

- 原因 スキャナのメモリ(SRAM)が故障している可能性がある
- **処置**「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。

10002

- 原因 スキャナのメモリ(DRAM)が故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。

10003 / 10004

- 原因 スキャナのランプが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

10005

- 原因 スキャナのセンサが故障している可能性がある
- 処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

10006

- 原因 1 周囲の温度が低いため、スキャナのウォームアップに時間がかかっている
- 処置しばらく(約5分)待ってから操作しなおしてください。
- ① 重要 スキャナを設置している周囲の温度が低いときは、ウォームアップに時間がかかり、電源を オンにしたときやスリープモードを解除したときに上記のエラーコードが表示されること があります。このような場合は、設置場所を変更してお使いになることをおすすめします。
- 原因2 スキャナのランプが故障している可能性がある
- **処置**「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。

10007

- 原因 スキャナの「ロック解除スイッチ」が解除されていない
- 処置「ロック解除スイッチ」を「ロック解除位置」にしてください。(→スキャナのロックを解除する: P.2-5)

10008 / 10009

- 原因1 原稿の読み込み中に紙づまりが起こった
- 処 置 つまっている原稿を取り除いてください。(→紙づまりが起きたときには:P.7-2)
- 原因2 スキャナが故障している可能性がある
- **処 置**「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。

10094

- 原因 1 プリンタと正しく接続されていないためコピーできない
- 処置 スキャナとプリンタを接続しているケーブルが正しく接続されているかを確認してください。(→プリンタとの接続: P.2-10)
- 原因2 プリンタの電源がオフになっている
- 処置 プリンタの電源をオンにしてコピーしなおしてください。
- 原因3 プリンタがオフラインになっている
- 処置 オンラインキーを押し、プリンタをオンラインにしてください。(→プリンタに付属のユーザーズガイド)
- 原因4 プリンタ側でエラー(紙づまりを含む)が発生している
- 処置 プリンタのエラー(紙づまりを含む)を解消してください。(→プリンタに付属の ユーザーズガイド)
- **原因5** プリンタ側の設定でパラレルインタフェースからの受信ができないようになって いる
- 処置 プリンタのセットアップメニューの「インタフェース選択」を「ジドウ」または 「セントロニクス」に設定してください。(→プリンタに付属の LIPS 機能ガイド)

10201

原因 スキャナが故障している可能性がある

処置「サービスコール表示」(→P.7-16)を参照してください。

10202

原因 スキャナのメモリ(SRAM)が故障している可能性がある

処置「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。

- 原因以下の理由でスキャナがネットワーク上で正しく動作していない(SMTPサーバに接続できない)ため、Eメールが送信できない
 - •20493:ネットワークの設定(SMTPサーバ)が正しくない
 - •20512:何らかの理由で接続に失敗した
 - •20519:ネットワークの設定が正しくない
 - •20530:ネットワークがダウンしている
 - •20531:ネットワークが正しくサービスを行っていない
 - •20533:サーバによって接続が中断された
 - •20534:サーバによって接続がリセットされた
 - •20540: 接続がタイムアウトになった
 - •20541:何らかの理由で接続に失敗した
 - •20545:サーバが正しく動作していない
- **処 置** 以下の確認を行ってください。ただし、ネットワークの設定を変更するときや、 サーバ側の設定をするときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - •LAN ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。(→LAN との接続: P.2-12)
 - •LAN ケーブルが断線していないかを確認してください(別のケーブルでお試し ください)
 - 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を正しく設定してください。(→ネットワーク設定:P.6-13)
 - 「SMTP サーバ」を正しく設定してください。「SMTP サーバ」にホスト名を入 力したときは「DNS サーバ」の設定も行ってください。(→ネットワーク設定: P.6-13)
 - 「SMTP ポート」の設定を変更してください。(→ネットワーク設定: P.6-13)
 - サーバ側の設定を変更してください。本スキャナをサーバに登録する必要があるときは、登録してください。

30421 / 31421 / 32421

- **原因 1** 指定した SMTP サーバのサービスが有効になっていないため E メールを送信で きない
- 処置 ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- **原因2** SMTP サーバがサービスを中止した (シャットダウンした) ため E メールを送信 できない
- 処置 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

31450

- 原因 送信した宛先のメールボックスが利用できないため E メールを送信できない
- 処置1 正しい E メールアドレスを入力して送信しなおしてください。(→ E メール送信の流れ: P.5-2)
- 処置2 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

31451 / 32451 / 33451

- **原因** 送信した E メールの処理中に SMTP サーバがエラーを起こしたため E メールを 送信できない
- 処置 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

31452 / 32452 / 33452

- 原因 SMTP サーバの容量が一杯になり Eメールを送信できない
- 処置 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

30454 / 31454

- **原 因** 認証が必要な SMTP サーバを使用しているため E メールを送信できない
- **処 置** ネットワーク管理者にお問い合わせください。認証の設定をオフにするか、認証 が必要ない SMTP サーバを使用してください。

30500 / 31500 / 32500 / 33500

- **原因**送信データに SMTP サーバが理解できないコマンドが含まれているため、Eメール送信ができない
- **処 置** スキャナの電源を立ち上げなおしてから E メールを送信してください。それでも 問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
30501 / 31501 / 32501

- **原因1** スキャナまたは送信の設定が正しくないため E メールを送信できない
- 処置1 デバイス名が正しく設定されているかを確認してください(デバイス名に「@」は 使用できません)。(→デバイス名: P.6-13)
- 処置2 「From」および「To」に正しいアドレスを入力してください。(→ E メール送信 の流れ: P.5-2)
- **原因2** SMTP サーバがスキャナの仕様に合っていない
- 処置 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

31503 / 32503

- 原因
 送信データに SMTP サーバが理解できない順序のコマンドが含まれているため、

 Eメール送信ができない
- **処 置** スキャナの電源を立ち上げなおしてから E メールを送信してください。それでも 問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

30504

- **原因** スキャナの設定が正しくないため E メールを送信できない
- 処置 デバイス名が正しく設定されているかを確認してください(デバイス名に「@」は 使用できません)。(→デバイス名: P.6-13)

30530 / 31530

- 原 因 認証が必要な SMTP サーバを使用しているため E メールを送信できない
- **処置** ネットワーク管理者にお問い合わせください。認証の設定をオフにするか、認証 が必要ない SMTP サーバを使用してください。

31550

- **原 因** 送信した宛先のメールボックスが利用できない、または存在しないため E メール を送信できない
- 処置 正しい E メールアドレスを入力して送信しなおしてください。(→ E メール送信の流れ: P.5-2)

31551

- 「原 因 送信した宛先が SMTP サーバに登録されていないため E メールを送信できない
- 処置 正しい E メールアドレスを入力して送信しなおしてください。(→ E メール送信の流れ: P.5-2)

31552 / 32552 / 33552

- **原 因** サーバ側で設定している容量の割り当てを超えたため E メールを送信できない
- 処置1 送信するファイルの形式が「TIFF」に設定されている場合は、「PDF」または「JPEG」(カラー送信時のみ)に設定して送信しなおしてください。(→ファイル形式を設定する:P.5-9)
- 処置2 送信する解像度を下げて送信しなおしてください。(→Eメール送信の流れ:P.5-2)
- 処置3 送信する原稿の枚数を減らして送信しなおしてください。(→ E メール送信の流れ: P.5-2)
- 処置4 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

31553

- **原因** 宛先が見つからないため E メールを送信できない
- 処置 正しい宛先を入力して送信しなおしてください。(→ E メール送信の流れ: P.5-2)

32554 / 33554

- **原因**何らかの原因で E メールを送信できない
- 処置 ネットワーク管理者にお問い合わせください。

32999

- 原因1 メールの本文に「.」(ピリオド)のみの行が存在する
- **処 置** 「.」(ピリオド)を削除するか、一行の中に「.」以外の文字を入力して送信してく ださい。
- 原因2 送信データの転送中に接続が解除された
- **処置1** ネットワークの環境を確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問 い合わせください。
- 処置2 サーバ側で設定している容量の割り当てを超えていないかを確認してください。



スキャナに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、次のようなメッセージや エラーコードが表示されます。

■ メッセージ

スキャナエラー スキャナヲカクニンシテクダ゛サイ	ケ゛ンコウヨミトリユニットエラー
スキャナハート゛ウェアエラー	JK° - IJ-

■ エラーコード

10001	10005
10002	10009
10003	10201
10004	10202

このような場合は、次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。メッセージやエ ラーコードが消えることがあります。

1 電源をいったんオフにし、3秒以上待ってから電源をオンにしなおしてく ださい。



メッセージやエラーコードが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッ セージやエラーコードが表示された場合は、次の手順に進んでください。

- 2 ディスプレイに表示されているメッセージやエラーコードを書きとめます。
- **3** 電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を 専用のアース線端子から取り外します ②。





ご連絡の際には、症状および書きとめたメッセージやエラーコードをお知らせください。

正しくコピーまたは E メール送信ができな かったときには

本スキャナの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

- 重要
 ・ディスプレイにメッセージやエラーコードが表示されたときは、「エラーメッセージー覧」 (→ P.7-5)、「サービスコール表示」(→ P.7-16)を参照してください。
 - ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

電源や動作のトラブル

スキャナが動かない

- 原因 スキャナ底面の「ロック解除スイッチ」が「ロック位置」になっている
- 処置
 「ロック解除スイッチ」を「ロック解除位置」にしてください。(→スキャナのロックを解除する: P.2-5)

フィーダにセットした原稿が重なって搬送される

- 原因1 使用できない原稿をフィーダにセットした
- 処置 使用できる原稿をフィーダにセットしてください。(→フィーダにセットする:
 P.3-6)
- 原因2 原稿をフィーダに押し込んでセットした
- 処置 原稿は自動的にフィーダに送られますので、押し込まないようにセットしてください。(→フィーダにセットする: P.3-6)
- 原因3 給紙ローラや分離パッドが汚れている
- 処置 給紙ローラや分離パッドを清掃してください。(→フィーダの給紙ローラや分離 パッドを清掃する: P.7-26)
- 原因4 分離パッドが消耗している
- 処置 分離パッドを交換してください。(→フィーダの分離パッドを交換する:P.7-29)

フィーダにセットした原稿が斜めに搬送される

- 原因1 スライドガイドの位置が原稿のサイズに合っていない
- 処置 原稿をセットする前にスライドガイドを原稿のサイズに合わせてください。
- 原因2 使用できない原稿をフィーダにセットした
- 処置 使用できる原稿をフィーダにセットしてください。(→フィーダにセットする:
 P.3-6)
- 原因3 給紙ローラや分離パッドが汚れている
- 処置 給紙ローラや分離パッドを清掃してください。(→フィーダの給紙ローラや分離 パッドを清掃する:P.7-26)
- 原因4 分離パッドが消耗している
- <u>**処</u> 置** 分離パッドを交換してください。(→フィーダの分離パッドを交換する: P.7-29)</u>

コピーできない

- 原因1 プリンタにコピーするサイズの用紙がセットされていない
- 処置1 プリンタにコピーするサイズの用紙をセットしてください。
- **処置2** 出力サイズの設定を変更してください。(→出力サイズ: P.6-14)
- 原因2 接続したプリンタと異なるプロファイルがスキャナに入っている
- 処置 接続したプリンタに合わせたプロファイルに更新してください。(→プリンタの設定をする(プリンタプロファイルの更新): P.2-30)
- 原因3 (LBP-2810/2710の場合)プリンタが本スキャナに対応していない
- **処 置** プリンタの ROM を交換してください。詳しくは、お買い求めの販売店にご連絡 ください。

コピー中に読み込みが止まった

- 原因 プリンタ側でエラー(用紙なしなど)が発生している
- 処置 プリンタのエラーを解消してください。(→プリンタに付属のユーザーズガイド)

画質のトラブル

コピーやEメールで送信した画像に黒または白いスジが入る

- 原因 原稿台ガラスやフィーダの裏面が汚れている
- 処置 原稿台ガラスおよびフィーダの裏面を清掃してください。(→原稿台ガラス/ フィーダの裏面を清掃する: P.7-22)

コピーした画像が真っ白になる

- 原因1 プリンタケーブルが正しく接続されていない
- 処置 プリンタケーブルをスキャナおよびプリンタのコネクタにしっかりと接続してく ださい。(→プリンタとの接続: P.2-10)
- 原因2 接続しているプリンタでトラブルが発生している
- 処置 プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。
- 重要 上記の操作をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コピーした画像に横向きの線が入る

- 原因 連続してコピーをしたため、スキャナ内部の温度が上昇している
- 処置しばらく待ってから(約2分)コピーしてください。

コピーやEメールで送信した画像の色味が以前と異なる

- 原因 電源をオンにした直後やスリープモードを解除してからすぐにコピーや E メール 送信を行った
- **処 置** 電源をオンにしたり、スリープモードを解除したら、5 分以上待ってからコピー や E メール送信を行ってください。

カラーコピーした色が正しくない

- 原因 接続したプリンタと異なるプロファイルがスキャナに入っている
- 処置 接続したプリンタに合わせたプロファイルに更新してください。(→プリンタの設定をする(プリンタプロファイルの更新): P.2-30)

その他のトラブル

操作パネルの [宛先表] に登録されている文字が化けている

- 原因 Web ブラウザから登録したときに、漢字やひらがななどの全角文字を入力した
- **処 置** Web ブラウザからの文字は、すべて「半角英数字」で入力してください。

日常のお手入れ

原稿がきれいに読み取れないときは、次の箇所を清掃してください。快適な動作や良好な画 質を維持していただくため、約1か月に1回をめどに清掃をお願いいたします。

- 原稿台ガラス
- フィーダの裏面
- •フィーダ原稿読取部
- 給紙ローラ、分離パッド
- ▲警告 ・清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になり ます。
 - アルコールやシンナー、ベンジンなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤 が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
 - 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 重要 本スキャナには注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

原稿台ガラス/フィーダの裏面を清掃する

以下の手順で、原稿台ガラスおよびフィーダの裏面の清掃をしてください。

- 重要
 本体のプラスティックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
 - 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。



2 水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で原稿台ガラスを拭いたあと、かわいた柔らかい布で、から拭きします。



3 水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布でフィーダの裏面を拭いた あと、かわいた柔らかい布で、から拭きします。



4 フィーダを静かに閉めます。





フィーダの給紙ローラや分離パッドを清掃する

給紙ローラや分離パッドが汚れると、原稿がうまく給紙されなくなります。原稿が給紙され ない、または原稿給紙トレイで紙づまりが頻繁に発生するようなときは、給紙ローラと分離 パッドの清掃が必要です。

- ●重要 給紙ローラと分離パッドの清掃を行っても原稿がうまく給紙されないときは、分離パッドの交換が必要です。交換方法については、「フィーダの分離パッドを交換する」(→P.7-29)を参照してください。
 - **1** フィーダの上カバーを開けます。



2 水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、図のように給紙ローラの汚れを 拭き取ります。

給紙ローラは横方向に清掃します。



3 水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、図のように分離パッドの汚れを 拭き取ります。

分離パッドは縦方向に清掃します。



● 重要 分離パッドの清掃を行うときは分離パッドの左右にある金属の部品に布などを引っ掛けたり、触れないように気を付けて清掃してください。







分離パッドの清掃をしても、うまく給紙されないときは、以下の手順で分離パッドを交換します。分離パッドの交換の目安は約50,000ページです。









3 分離パッドの矢印の位置をつまみ ①、取り付けます ②。

分離パッドの両側のツメがフィーダの穴にパチンとはまるまでしっかり取り付けてください。



● 重要 分離パッドの灰色の部分に触れないように気を付けて取り付けてください。灰色の部分に触れると、給紙不良の原因になります。





付録



この章では、おもな仕様や各部の寸法などについて説明しています。

おもな仕様
各部の寸法
スキャナのファームウェアを更新する
スキャナのホームページを更新する8-8
索引
保守サービスのご案内8-14
キヤノン保守契約制度とは8-14
補修用性能部品
無償保証について
シリアルナンバーの表示位置について8-16

おもな仕様

形式	ADF付きフラットベッド型イメージスキャナ		
出力品質	600 dpi、24 bit カラー		
CPU	32 bit RISC CPU		
メモリ容量	RAM:8MB DRAM ROM:2MB フラッシュ ROM		
読み取り速度(データ転送時間は 除く、A4 片面原稿)	カラー 150dpi:8 ページ / 分* モノクロ 200dpi:9.2 ページ / 分* * 読み取り速度は、原稿の種類やメールサーバによって変わります。		
連続複写速度(同一原稿複写)	LBP-2810/2710:22枚/分 (A4サイズ、普通紙、カラーコピー/モノクロコピー共通) LBP-2510:17枚/分 (A4サイズ、普通紙、カラーコピー/モノクロコピー共通) LBP-1910:32枚/分 (A4サイズ、普通紙、モノクロコピー) LBP-1820/1620:22枚/分 (A4サイズ、普通紙、モノクロコピー) * 連続複写速度は、用紙サイズの設定によって変わることがあり ます。		
連続複写	最大 99 枚		
複写解像度	標準モード (300dpi) 高解像モード (600dpi)		
複写倍率	縮小 1:0.86 (A4 → B5) 1:0.81 (B5 → A5) 1:0.25 拡大 1:1.15 (B5 → A4) 1:1.22 (A4 → B4/A5 → B5) 1:1.41 (A4 → A3/B5 → B4) 1:4.00 全面コピー 1:0.93		
複写用紙	用紙サイズ: A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター(接続 したプリンタによる) 用紙タイプ:プリンタ側で設定		
Eメール送信ファイル形式	モノクロ送信:PDF、TIFF カラー送信:PDF、JPEG、TIFF		

E メール送信解像度	 モノクロ送信:標準モード200dpi、高解像モード300dpi カラー送信:標準モード150dpi、高解像モード200dpi 標準モード設定可能範囲*:400、300、200、150、100、75dpi 高解像モード設定可能範囲*:600、400、300、200、150、100dpi * 解像度の設定可能範囲は、モノクロ送信、カラー送信共通です。 		
宛先表容量	E メールアドレス:2000 宛先 グループ:100 1 グループ内宛先:99 宛先		
セキュリティ機能	あり		
原稿台ガラス	複写原稿:シート、ブック原稿、立体物(2kg まで) 最大原稿サイズ:幅 216mm ×長さ 297mm		
フィーダ読み込み可能原稿	最小サイズ:幅 114.3mm ×長さ 139.7mm 最大サイズ:幅 216mm ×長さ 355.6mm 紙厚:64 ~ 105g/m ² 最大積載枚数:25 枚(64g/m ²) 原稿セット面:上向き		
フィーダ原稿交換速度	10枚/分* * 原稿交換速度は、送信するデータの解像度によって変わること があります。		
フィーダ分離パッド寿命	約 50,000 読み込み		
キーボード	101 キー、コピーキー、E メールキー、宛先表キー、セットアッ プキー、バージョン情報キー、ファンクションキー×6個		
電源(AC アダプタ)	入力 : AC 100V 50/60Hz 出力 : DC 24V/2A		
消費電力	動作時(カラー/モノクロ読み込み):平均約 25W スタンバイ時:約 16W スリープモード時:約 12W 最大:30W以下		
ウォームアップ時間 (室温 20 °C)	電源立ち上げ時:最大45秒 スリープモードからの立ち上げ時:最大45秒		
スリープモード移行時間	操作終了後4時間		
稼働音音圧レベル	最大 58dB [A]		
質量	約 6.3 kg		
ホストインタフェースコネクタ	LAN コネクタ(RJ-45) プリンタコネクタ(IEEE1284、ECP/SPP) キーボードコネクタ(PS/2)		
ネットワークインタフェース	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX 自動検出		
ネットワークコミュニケーション プロトコル	TCP/IP、SMTP、HTTP、MIME、LDAP		
対応ブラウザ	Netscape Navigator : $4.0 \sim 4.78$ Internet Explorer : $4.0 \sim 6.0$		

ネットワーク設定	IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス SMTP サーバ SMTP ポート DNS サーバ
----------	--



スキャナ本体の各部の寸法は以下の通りです。





スキャナのファームウェアを更新する

スキャナのシステムのファームウェアは以下の手順で更新します。

- ① 重要 ・ファームウェアの更新は、ネットワークに接続されているパソコンから LASER SHOT SCAN Utility for Admin で行います。LASER SHOT SCAN Utility for Admin のイ ンストール方法や使用方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユー ザーズガイド」を参照してください。
 - LASER SHOT SCAN Utility for Admin を使用するには、スキャナがネットワークに接続されている必要があります。あらかじめ、LAN ケーブルをスキャナに接続し、ネットワークの設定を行ってください。
 - ファームウェアを更新すると、ホームページの更新が必要になる場合があります。システムのファームウェアのバージョンを「スキャナの情報を確認する(バージョンジョウホウ)」(→ P.6-40)で確認して、ファームウェアのファイル名の①の部分が更新されていた場合は、ホームページの更新が必要になります。②の部分のみが更新されていた場合は、ホームページの更新は不要です。

ファームウェアのファイル名:S100_fw_v<u>X.XX</u>.bin

ホームページを更新する場合は、①の数値と同じホームページのファイルを使用して更新を行ってください。数値が合っていないと正しく動作しません。

- ● メモ
 • ファームウェアのバージョンは、「スキャナの情報を確認する (バージョンジョウホウ)」
 (→ P.6-40) で確認できます。
 - ファームウェアを更新するためのファイルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。
 - ┦ 電源スイッチの"Ⅰ"側を押し、スキャナの電源を入れます。
 - **2** LASER SHOT SCAN Utility for Adminがインストールされていない 場合は、インストールします。
- ✓ メモ LASER SHOT SCAN Utility for Admin のインストール方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。
 - **3** ネットワークに接続されているパソコンで、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin」を起動します。

8

付録

4 スキャナが接続されていない場合は、接続します。

- タメモ スキャナに接続する方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユー ザーズガイド」を参照してください。
 - 5 メインウィンドウでデバイスを選択し、[ツール] メニューから [ファー ムウェアの更新] を選択します。



6 ファームウェア更新用のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

<mark>ファームウェアファイルの</mark> ファイルの場所Φ ● S100.fw_v1108	登録 一一一 Firmware	. E Ø	? ×
ファイル:名(N):	S100_fw_v1.10.bin	(■(@)
ファイルの種類(工):	Firmware		キャンセル

スキャナのディスプレイにファームウェア更新中のメッセージが表示されます。

メッセージが消えたら更新完了です。

8

付録

スキャナのホームページを更新する

スキャナのホームページは以下の手順で更新します。

- ① 重要 ・ホームページの更新は、ネットワークに接続されているパソコンから LASER SHOT SCAN Utility for Admin で行います。LASER SHOT SCAN Utility for Admin のイ ンストール方法や使用方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユー ザーズガイド」を参照してください。
 - LASER SHOT SCAN Utility for Admin を使用するには、スキャナがネットワークに接続されている必要があります。あらかじめ、LAN ケーブルをスキャナに接続し、ネットワークの設定を行ってください。
 - ホームページを更新すると、ファームウェアの更新が必要になります。ホームページの ファイル名にある以下の下線部の数値が同じファイル名のファームウェアを更新してく ださい。数値が合っていないと正しく動作しません。

ファームウェアのファイル名:S100_fw_vX.X.bin

ホームページのファイル名:S100_Homepage_vX.X-yymmdd.axf

── 同じ値にする

 ・ホームページのバージョンは、ホームページのログイン画面で「SCAN-100」のロゴを クリックして確認できます。



 ホームページを更新するためのファイルは、キヤノンホームページからダウンロードする ことができます。

- 1 電源スイッチの"I"側を押し、スキャナの電源を入れます。
- **2** LASER SHOT SCAN Utility for Adminがインストールされていない 場合は、インストールします。
- ② メモ LASER SHOT SCAN Utility for Admin のインストール方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユーザーズガイド」を参照してください。
 - **3** ネットワークに接続されているパソコンで、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin」を起動します。
 - 4 スキャナが接続されていない場合は、接続します。
- ダメモ スキャナに接続する方法については、「LASER SHOT SCAN Utility for Admin ユー ザーズガイド」を参照してください。
 - 5 メインウィンドウでデバイスを選択し、[ツール] メニューから [ホーム ページの更新] を選択します。



8 付録 6 ホームページ更新用のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



スキャナのディスプレイにホームページ更新中のメッセージが表示されます。

メッセージが消えたら更新完了です。

索引

英数字

BCC, 1-11 CC.1-11 DNSサーバ,6-14 Eメール送信機能の使用者を制限する,6-34 Eメール送信の流れ.5-2 [Fn1] ~ [Fn6] (ファンクション) キー, 1-9 From , 1-10 From(Eメール), 6-20 IPアドレス,6-13 JPEG , 5-9 LAN ケーブル.2-12 LAN コネクタ, 1-8 LASER SHOT SCAN Utility for Admin , 2-2.2-31 Memo , 1-11 OHPフィルムにコピーする,4-11 PDF . 5-9 SMTPポート,6-14 SMTP サーバ, 6-13 Subi . 1-10 Subject, 6-15 TIFF, 5-9 To.1-11 [∧] [∇] [⊲] [⊳] ≠−, 1-8, 3-11

ア行

足の位置,1-3 厚紙にコピーする,4-11 圧縮率,6-17 [宛先表] キー(キーボード),1-9 [宛先表] キー(操作パネル),1-8 宛先表の登録・管理,6-27 宛先を削除する,6-31 宛先を登録する,6-27 宛先を変更する,6-30 上カバー,1-7,3-8 エラーコード,7-9 エラーメッセージ,7-5

カ行

各部の寸法.8-5 各部の名称,1-6 画質のトラブル,7-20 紙づまり,7-2 管理者 E メール. 6-18 管理者情報の設定, 2-19 管理者情報の設定 Eメールアドレス,2-25 パスワード, 2-22 ログイン名, 2-20 管理者パスワード, 6-19 管理者ログイン名, 6-18 キーボード,1-9 キーボードコネクタ.1-7 機能選択キー(キーボード), 1-9 機能選択キー(操作パネル), 1-8 [キャンセル] キー . 1-8 グループの設定をする, 6-32 ゲートウェイアドレス,6-13 原稿給紙トレイ.1-7 原稿台ガラス,1-7 原稿台ガラスにセットする, 3-2

8 付 原稿タイプ,6-17 原稿排紙トレイ.1-7 原稿をセットする, 3-2 現在の設定を標準モードにする, 6-20 [高解像モード] キー, 1-8 高解像度(カラー),6-17 高解像度(モノクロ), 6-16 高解像モード.4-8 コピーする解像度を設定する,4-8 コピーする画質を設定する,4-9 コピーする濃度を設定する.4-10 コピー操作の流れ,4-2 コピー濃度,1-10 コピー倍率.1-10 コピー倍率設定, 1-8 コピー部数,1-10 コピーモードを設定する.4-6 梱包材の取り外し、2-6

サ行

サービスコール,7-16 サブネットマスク,6-13 地色除去(モノクロスキャン), 6-14, 6-18 [実行] キー . 1-8 写真モード,4-9,5-10 縮小/拡大コピーする.4-6 出力サイズ, 1-10, 6-14 仕様,8-2 シリアルナンバー.8-16 スキャナの情報を確認する(バージョン情報)、 6-40 スキャナの設定.6-2 [スタート] キー , 1-8 [ストップ/クリア] キー, 1-8 スライドガイド, 1-7, 3-7 スリープモード,2-18 清掃.7-22

給紙ローラ/分離パッド,7-26 原稿台ガラス/フィーダの裏面,7-22 セキュリティ機能(Eメール),6-19 設置環境,1-2 設置スペース 周囲に必要なスペース,1-3 設置する高さ,1-4 設置場所,1-2,2-3 設定項目一覧,6-11 [セットアップ] キー(キーボード),1-9 [セットアップ] キー(操作パネル),1-8 全面コピー,4-7 操作パネル,1-8 送信後に宛先を宛先表に追加,6-19 その他のトラブル,7-21

タ行

清掃

定形変倍,4-7 ディスプレイ,1-8,1-10 デバイス名,6-13 テンキー,1-8 電源コード,2-14 電源コード差し込み口,1-7,2-16 電源条件,1-2 電源スイッチ,1-7 電源や動作のトラブル,7-18 電源 をオフにする,2-18 をオンにする,2-17 等倍,4-7

ナ行

入力キー,1-9 ネットワークの設定,2-28

八行

「バージョン情報]キー.1-8 排紙口,1-7 排紙ストッパ,1-7 パッケージの内容.2-2 標準解像度(カラー),6-16 標準解像度(モノクロ),6-16 標準モードを変更する,6-8 ファームウェアの更新,8-6 ファイル形式を設定する,5-9 ファイル形式(カラー).6-15 ファイル形式(モノクロ),6-15 ファンクションキーの設定,6-21 フィーダ.1-7 フィーダケーブル,1-7 フィーダにセットする,3-6 付属品の取り付け.2-6 プリンタケーブル,2-10 プリンタコネクタ,1-8 プリンタの設定.2-30 プリンタプロファイルの更新, 2-30 プリンタ名,6-14 分離パッドの交換.7-29 変倍,4-7 ホームページの更新,8-8 保守サービス.8-14 補助トレイ,1-7

マ行

無償保証,8-15 メッセージ,7-6 文字の入力,3-10 文字モード,4-9,5-10 文字+写真モード,4-9

ヤ行

ユーザプロファイルを削除する,6-39 ユーザプロファイルを登録する,6-34 ユーザプロファイルを変更する,6-38 読み込み画質,1-10 読み込みモードを設定する,5-9 読み込む画質を設定する,5-10

ラ行

連続読み込み,5-12 [連続読込] キー,1-8 ロック解除スイッチ,1-7,2-5



保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはネットワークスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎 日ご愛用いただくネットワークスキャナの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」 を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただ けますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任 をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつ なぐ保守サービスで、キヤノン製品を未永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償で サービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービス を所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、 一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)



キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。 万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後7年間です。



- •本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- •無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本スキャナの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー(Serial No.)が必要になります。本スキャナのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

要シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対には がさないでください。





■ 梱包箱外側



[🕛] 重要



本書は、本文に50%の 再生紙を使用しています。

リサイクルに配慮して製本されて いますので、不要となった際は、 回収リサイクルに出しましょう。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くの キヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、 下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓□

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。 ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。



お客様相談センター

(全国共通番号)

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

20570-01-9000

全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。 お電話が繋がりましたら、音声ガイダンスに沿って購入前<u>1</u>、購入後<u>0</u>の番号をダイヤルボタン で押してください。続きまして、本製品の該当番号<u>42</u>をお話しいただくか、ダイヤルボタンを押して (プッシュ回線対象)ください。お電話は自動音声応答で受け、音声認識を用いて商品別のオペレーター にお繋ぎします。認識するための商品名は「レーザショット」もしくは「エルビーピー」とお話しください。 注)周りの音や騒音により認識されない場合は案内窓口に繋がります。

(なお、商品によっては、機種名をお聞きしますので、機種名をお話しください。)

[受付時間] 平日 9:00~20:00 土・日・祝祭日 10:00~17:00(1/1~1/3を除く) ※NTT DoCoMo/J-Phone/TU-KA以外の携帯・自動車電話をご使用の方は、043-211-9627をご利用ください。 ※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■アクセスポイント

札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・さいたま・千葉・ 東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・ 岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・ 松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区三田3-11-28 LASER SHOTホームページ: canon.jp/lbp



© CANON INC. 2002